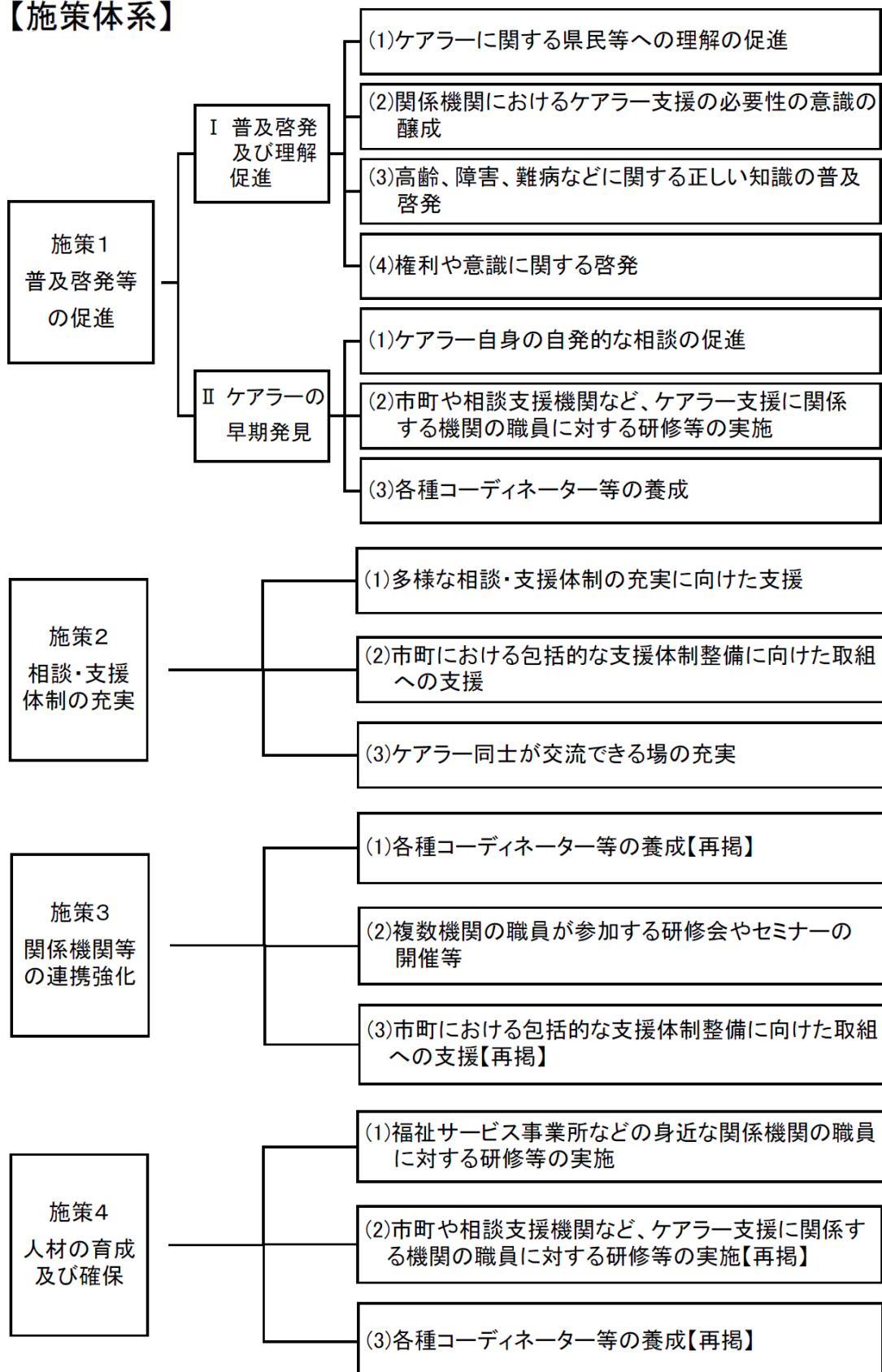


ケアラー支援に向けた取組の状況について

【施策体系】



「栃木県ケアラー支援推進計画」 関連事業【施策1：普及啓発等の促進】

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策					
										1－(1)	1－(2)	2	3	4	
1	包括的支援体制構築促進事業	180	42	市町	行政・市町社会福祉協議会等による「地域共生社会スタディグループ」を設置、研修会を開催し、「地域共生社会」の実現に向けた基盤整備を進める。	・令和5(2023)年度とちまる地域共生社会推進研修会開催 R5.6.29 栃木総合文化センター特別会議室 参加者約90名	保健福祉課			(2)			(2)		
2	小地域福祉活動推進セミナー（地域福祉等推進特別支援事業）	220	220	市町	地域住民と行政、民間福祉サービス事業者等が地域福祉について共に考える「小地域福祉活動推進セミナー」を開催し、先進事例等の研究や意見交換を行う。	・R6(2024).3.12「地域共生社会シンポジウム」開催（参加者95名） ・有識者等による特別講演、パネルディスカッションを実施	保健福祉課			(1)			(2)		
3	デジタル地域共生社会推進研修事業	廃止	565	市町	I C T 技術等を活用した地域における見守り等の取組の推進	・R5（2023）.12.13「デジタル地域共生社会推進研修会」の開催（参加者71名）	保健福祉課			(1)					
4	相談支援コーディネーター養成研修事業	1,272	1,103	市町行政、社会福祉協議会職員、地域包括支援センターなどの相談支援機関職員等	多様化・複合化した課題を抱える個人や世帯の相談を受け止め、多機関協働事業等を通じて適切な支援につなぐ役割を担う「相談支援コーディネーター」を養成する研修を開催する。	・相談支援コーディネーター養成研修 R5(2023).7.3～R5(2023).9.28 修了者 43名 研修日程：上記期間のうち6日間 延べ30時間	保健福祉課				(3)		(1)	(3)	
5	福祉ボランティア活動推進事業	16,979	18,231	県民	福祉ボランティア団体のネットワーク化、市町ボランティア連絡協議会の組織強化及びボランティア活動の相談等事業を推進するための支援を行う。 また、とちぎ福祉プラザボランティアルーム内にボランティアコーディネーターを設置し、各種相談援助事業を行うことにより、ボランティア活動の推進を図る。	・福祉ボランティアネットワーク化推進事業 研修会 R6(2024).3.11 参加者11名 ・福祉ボランティア団体育成・指導事業 研修会：5会場 計5回 参加人数：計145名 ・福祉ボランティアコーディネート相談事業 来所・電話相談 2,978件	保健福祉課				(3)		(1)	(3)	
6	ボランティア振興事業	8,526	8,209	こども・生徒	概ね中学校区を単位とした地域を指定し、複数の小・中学校と市町社協が主体となり、ボランティア活動を中心とした福祉教育を推進するほか、教育関係者等を対象にした福祉教育推進セミナーを開催する。 また、各市町におけるボランティアコーディネーターの配置促進、スキルアップを目的にセミナーを開催する。	・福祉教育推進事業 セミナー R5(2023).8.4開催 参加者42名 国際医療福祉大学 大石准教授 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係 倉野主任 ・福祉教育推進リーダー養成研修 R5(2023).12.18開催 参加者18名 国際医療福祉大学 大石准教授 ・指定地域への助成：壬生町 ・ボランティアコーディネーションセミナー 令和5(2023).7.11 参加者15名 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 専務理事・事務局長 土崎 雄祐氏	保健福祉課			(1)	(3)		(1)	(3)	
7	従事者養成等研修	421	421	自立相談支援員等	相談支援員等の養成やスキルアップを目的とした研修を開催する。	・生活困窮者自立支援制度従事者研修 3回開催	保健福祉課					(2)	(1)		(2)
8	民生委員研修委託事業	548	550	民生委員・児童委員	県内3地区において、新任・中堅民生委員の資質向上のための研修事業を実施する。	・県内3地区において、新任・中堅民生委員のニーズを踏まえた研修会を開催した。 ・R5（2023）.9～R6(2024).12 （2日間/1地区） ・参加者延べ936名	保健福祉課			(2)	(2)				(1)
9	研修関係事務費（民生委員活動強化費）	348	242	民生委員・児童委員	各健康福祉センターによる研修会を実施する。	・県内5地区の健康福祉センターにおいて、各市町・民児協等との連携により地区別研修会を開催した。 R5(2023).5～R6(2024).2(日程は各センターで設定) 参加者：県内民生委員延べ1,800名程度	保健福祉課			(2)	(2)				(1)
10	民生委員・児童委員協力者等育成事業	257	251	地域住民	民生委員100周年を契機に、地域住民等を対象にした講座の開催、民生委員一日体験の実施を通じて、民生委員の協力者・後継者を育成する。	・（育成講座）有識者講座、現職民生委員による活動紹介 等 栃木県シルバー大学校 延べ4回開催 参加者344名 ・（広報事業）広報チラシ・ポスターの作成・配布 チラシ26,000部、ポスター130部	保健福祉課			(1)					
11	★ケアラー支援普及啓発事業	1,969	－	県民 ケアラー	ケアラー支援の重要性等について、ポスターやリーフレットを作成・配布することにより、県民、事業者、関係機関、支援団体等が理解と関心を深め、地域社会全体でケアラーを支える気運が醸成されるよう、広く普及啓発を図る。	－	保健福祉課 （各課）			(1) (2) (4)	(1)				

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
12	★ケアラー支援Webページ作成事業	7,000	－	県民 ケアラー	ケアラー向けに相談窓口や関係機関の情報を掲載するほか、チャットボット等により簡易な相談対応に応じられる機能を有するWebページを作成する。	－	保健福祉課 (各課)			(1)	(1)			
13	★ケアラー支援ガイドライン作成事業	15,000	－	県民 ケアラー	支援が必要なケアラーに気づくポイントや、ケアラー支援における留意点、連携スキームなどの具体的な手法や、取組の好事例などを盛り込んだ関係機関向けのガイドラインを作成し、県全体で共通認識を持ってケアラーを支援する体制を構築する。	－	保健福祉課 (各課)			(2)	(1)		(3)	
14	★ケアラー手帳作成事業	1,293	－	ケアラー	(一社)日本ケアラー連盟が作成している「ケアラー手帳」を栃木県版にカスタマイズし、ケアラー本人に市町や支援関係機関等を通じて配布する。	－	保健福祉課 (高齢対策課)				(1)			
15	地域支援事業交付金	1,807,189	1,089,519	市町	介護保険の被保険者が要介護状態等になるのを予防すること及び要介護状態等になった場合であってもできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として、市町が実施する地域支援事業に対して交付金を交付する事業	・各市町へ交付を行った (25市町)	高齢対策課			全てに該当				
16	家族介護者交流会事業	300	124	高齢者を ケアする 人	認知症の人を介護している家族が、介護に関する知識や技術を知ること、認知症の人とその家族の心身負担を軽減し、また、介護者同士の交流を図ること、介護者が孤立することなく、互いにサポートできる体制整備を図る事業	・家族介護者交流会の開催 (1回、参加者数60人)	高齢対策課			(1)、 (3)、(4)		全てに該 当		
17	出張どこでも認知症カフェ開催事業	410	410	高齢者を ケアする 人	各市町において、認知症の人本人の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映できるよう、認知症の人本人が、自身の希望や必要としていること等を本人同士で語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域の在り方を一緒に話し合う場である本人ミーティングの取り組みを実施することが求められていることから、認知症の人本人による本人ミーティングを参加者がくつろいで話せるよう、なじみのある認知症カフェ形式で開催することで、各市町における本人ミーティング開催に向けた支援を図る事業	・出張どこでも認知症カフェの開催 (3回、参加者数137人)	高齢対策課			全てに該 当	(1),(2)	全てに該 当	(2),(3)	(2)
18	地域包括ケアシステム普及啓発促進事業	850	0	県民	地域包括ケアシステムの構築を推進する上で必要な、住民主体の地域づくりを推進するため、住民が主役の地域づくりの必要性を啓発するためのポスター、リーフレット等を作成し、普及・啓発を図ることを目的とした事業	・ポスターの配布 ・リーフレットの配布	高齢対策課			全てに該 当				
19	認知症地域支援推進員活動促進事業	287	130	県民	認知症地域支援推進員の活動を促進するため、市町間の連携を図る連絡会の開催や、認知症地域支援推進員の役割や配置先を記載したリーフレット等を作成し、普及・啓発を図ることを目的とした事業	・連絡会の開催 (1回、参加者数24人) ・リーフレットの印刷及び配布 (15,000枚)	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
20	認知症医療連携体制構築事業費	3,723	2,871	県民	認知症を早期に発見し、診断することが重要であることから、それらに対応する認知症サポート医等をとちぎオレンジドクターとして登録し、ポスター等により周知するとともに県内全域に認知症の初期から中等度の症状等に対応できる認知症医療連携体制の構築を目的とした事業	・研修会の開催 (2回、参加者数116人) ・新規登録者数18名 (登録証を作成・配布) ・ポスターの印刷及び配布 (5,200枚) ・リーフレットの印刷及び配布 (52,000枚)	高齢対策課			(2)	(2)	(1)		(1)
21	若年性認知症対策推進事業	1,383	1,297	県民、事 業者	若年性認知症支援コーディネーターを養成・配置し、若年性認知症の人やその家族、若年性認知症の人が利用する関係機関及び若年性認知症の人を雇用する企業等からの各種相談に応じ、必要な支援制度やサービス等を紹介すると共に、相談内容に応じて、医療・福祉・就労・家族等支援等とネットワークを構築し、関係機関と連携して若年性認知症の方及びその家族への支援を実施する事業	・電話相談18件 ・若年性認知症支援コーディネーターの配置 (2人) ・若年性認知症支援ネットワーク会議の開催 (1回) ・若年性認知症支援に係る市町職員等研修会 (1回、参加者数38人) ・関係機関等への支援 (認定産業医研修への参加)	高齢対策課			(4)	(3)	(1)	(1)、 (3)	(1)、(3)
22	認知症サポーター等養成事業	134	160	高齢者を ケアする 人	地域における認知症の普及啓発を充実させるため、認知症サポーター養成講座を実施するとともに、サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトの要請及び活動事例に関する報告会を開催する事業	・認知症サポーター養成講座の開催 (12回、修了者数793名) ・キャラバン・メイト養成講座の開催 (1回、修了者数87名)	高齢対策課			全てに該 当	全てに該 当	(1)、(2)	(3)	全てに該 当
23	とちぎまるとオレンジプロジェクト	3,306	2,844	県民	認知症の人が認知症とともにによりよく生きていくことができるよう、社会全体で認知症の人を支える基盤として、認知症の人の視点に立って認知症への社会の理解を深めるための普及・啓発を目的とした事業	・下野新聞へ新聞広告の制作及び掲載の委託	高齢対策課			全てに該 当		(1)		
24	多世代交流型介護予防プロジェクト事業	10,544	10,942	県民	高齢者を対象とした介護予防を推進するだけでなく、幅広い世代を対象に介護予防についての普及啓発を実施することにより、地域全体で介護予防に関心を持ち、我が事として考えるきっかけを作り、ひいては介護予防・認知症予防対策を包含する生活支援体制整備に資する意識を醸成することを目的とした事業	・下野新聞へ新聞広告の制作及び掲載の委託 ・リーフレットの印刷及び配布 (10,000枚) ・とちぎテレビへテレビ番組の制作及び放送の委託 ・フレイル予防普及啓発用マグネットシートの配布 ・フレイル予防に関するリーフレットの印刷及び配布 (7,000枚)	高齢対策課			(3)				
25	高齢者虐待防止推進事業	90	86	市町	高齢者虐待防止啓発リーフレットの配布等による啓発活動や市町職員を対象とした研修を実施する事業	・リーフレットの配布 (1,560部) ・高齢者虐待対応初級研修(1回 47名) ・市町担当課長向け高齢者虐待対応研修(1回 15名) ・高齢者虐待対応フォローアップ研修(1回 24名)	高齢対策課			(4)	(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
26	生活支援コーディネーター 養成事業	1,996	1,245	県民	住民主体の助け合いによる地域づくりや、日常生活支援サービスに係る地域のニーズとボランティア、NPO等の地域資源のマッチングなどを行うために市町等に配置される生活支援コーディネーターの育成を図る研修のほか、県内の先進事例を発表するフォーラムの開催、協議体等への助言を行う生活支援体制整備アドバイザー派遣を実施する事業	・ 初任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉 ・ 現任者研修の開催〈1回、修了者数27人〉 ・ 住民主体の地域支え合い推進フォーラムの開催〈1回、参加者数133人〉 ・ 生活支援体制アドバイザーの派遣〈5市町、延べ7回〉	高齢対策課				(3)	(1)、(2)	(1)、(3)	全てに該当
27	シルバー大学の運営	備考のとおり	備考のとおり	高齢者	高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を築くため、積極的に地域活動を実践する高齢者を養成する事業	令和5(2023)年度は、423名の入学があり、年80回(160時間)の授業を実施	高齢対策課	とちぎ健康福祉協会への指定管理委託事業費 R5:89,900千円の一部 R6:541,416千円の一部		(3)				
28	地域包括支援センター職員 研修事業	834	834	地域包括 支援セン ター	地域包括支援センター意義、役割、その業務、他の専門職との連携等について理解し、業務を行う上で必要な知識の習得及び技能の向上目的とした研修を実施する事業	・ 初任者研修の開催〈1回、修了者数45人〉 ・ 現任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
29	介護予防従事者研修事業	622	622	地域包括 支援セン ター	介護予防プランを作成する、介護支援専門員及び地域包括支援センター職員の資質向上を図ることを目的とした研修を実施する事業	・ 初任者研修の開催〈2回、修了者数99人〉 ・ 現任者研修の開催〈1回、修了者数35人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
30	リハビリテーション専門職 等研修会事業	318	318	その他事 業者	高齢者の生活機能低下に対しての働きかけにあたって協力が必要不可欠なリハビリテーション専門職等に対して、通所型サービス、訪問型サービス、地域ケア会議等に積極的に関与できるよう、必要な情報や知識を習得させることを目的とした研修を実施する事業	・ リハビリテーション専門職等研修会の実施〈1回、参加者24人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
31	住民主体介護予防推進支援 事業	884	92	市町	住民主体による介護予防に係る取り組みの促進のため、市町職員等の行政担当者に対する研修や専門職を対象としたフレイルアドバイザー養成、住民を対象としたフレイルサポーター養成を実施する事業	・ 介護予防・生活支援市町職員研修会〈1回、修了者数59人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
32	市町担当者養成事業	410	22	市町	地域包括ケアシステムの構築について、住民に最も身近な市町が責任を持ってそれぞれの地域の特性を十分に活かしながらシステム構築に取り組むことができるよう、システム構築を担当する職員を対象に、地域包括ケアシステム構築の総括担当者として求められる各種マネジメントや実務担当者の実務能力を養成するための研修を実施する事業	・ 初任者研修の開催〈1回、修了者数25人〉 ・ 課長級研修の開催〈1回、修了者数13人〉 ・ フォローアップ研修の開催〈1回、修了者数14人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
33	認知症地域支援推進員研修 事業	1,140	1,102	市町	市町が設置、運営する認知症地域支援推進員に対して、国が実施する質の確保に資する研修へ派遣することを目的とした事業	・ 新任者研修への派遣〈8回、修了者数22人〉 ・ 現任者研修への派遣〈6回、修了者数7人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
34	認知症サポート医研修事業	2,250	900	医療機関	認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成するため、国が実施する研修へ派遣する事業	・ 認知症サポート医養成研修への派遣〈5回、修了者数18人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
35	かかりつけ医認知症対応力 向上研修事業	1,269	450	医療機関	高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医〈かかりつけ医〉に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施することにより、認知症サポート医との連携の下、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じた認知症の人への支援体制の構築を図るため、かかりつけ医の認知症対応力向上を目的とした研修を実施する事業	・ かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施〈2回、修了者数24人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
36	医療従事者向け研修事業	3,677	3,129	医療機関	認知症の人が利用する病院の医療従事者や歯科医師、薬剤師、看護師、病院勤務以外の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基礎知識や医療と介護の連携の重要性等習得するための研修を実施する事業	・ 病院勤務の医療従事者向け研修の開催〈7回、修了者数247人〉 ・ 歯科医師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数19人〉 ・ 薬剤師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数50人〉 ・ 看護職員認知症対応力向上研修の開催〈1回、修了者数72人〉 ・ 病院勤務以外の医療従事者向け研修の開催(2回、326人)	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
37	介護のお仕事魅力向上促進 事業(介護のお仕事出前講座)	2,752	4,304	こども・ 生徒	現役の介護福祉士が講師として県内の中・高校を訪問し、介護の仕事の魅力ややりがい等をPRする講座を開催する事業	小学校:35校、中学校:7校、高校:7校で 延49回実施	高齢対策課			(3)				
38	介護のお仕事魅力向上促進 事業(介護のお仕事1日体験講座)	廃止	417	県民	将来の職業として介護職を考える契機と周囲の理解促進のため、高齢者の疑似体験や介護ロボット等の先進的な取組を紹介・体験する1日体験講座を実施する事業	開催:年2回 参加者数:延べ27人(一般11人、小学生16人)	高齢対策課			(3)				
39	介護に関する入門的研修事業	2,250	1,749	高齢者を ケアする 人	地域における介護人材の育成のため、県・市町が介護未経験者を対象に入門的研修を実施する事業	実施市町:9市町 県実施:2回 4	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
40	職場体験事業	1,529	1,137	県民	介護職に就労を希望する者や興味関心のある者を対象に介護の仕事のやりがいを学ぶため、実際の現場を知るための職場体験及び講座を実施する事業	介護職スタート講座開催：7回、参加者77人 介護職体験事業参加者数：延べ44人（見学15人、体験29人）	高齢対策課			(3)				
41	介護人材キャリアパス支援事業	5,000	4,559	介護等サービス事業所	介護職員に対し、適切なキャリアパス及びスキルアップを図るための研修を実施する事業	介護福祉士国家試験対策講座、小規模事業所資質向上研修、スキルアップ研修、サービス提供責任者研修、高齢者権利擁護推進研修	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
42	介護福祉士等修学資金貸付事業	9,230	147,967	県民	介護福祉士養成施設や福祉系高校の学生等に対して、入学準備金や介護実習費などの資金貸付を行う。	介護福祉士修学資金貸付：147名 福祉系高校修学資金貸付：43名 介護福祉士実務者研修受講資金貸付：62名	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
43	市町認知症施策推進連絡会開催事業	337	100	市町	市町が実施する認知症施策の円滑な実施に向けて、有識者等の講演や、先進事例の紹介、チームオレンジコーディネーターの養成を行う研修等を実施する事業	・チームオレンジコーディネーターフォローアップ研修の開催〈1回、24人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
44	認知症初期集中支援チーム員研修事業	1,000	640	市町	市町が設置、運営する認知症初期集中支援チーム員に対して、必要な知識及び技術を習得するための研修を実施することを目的とした事業	・市町職員の研修事業の参加料負担〈7回、修了者数16人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
45	認定調査員等研修事業	869	506	市町	介護保険制度を円滑かつ適正に実施するため、要介護認定関係者、介護支援専門員に対する養成等に関する研修を実施する事業	・認定調査員現任研修〈1回、修了者数112人〉 ・介護認定審査会委員現任研修〈1回、修了者数117人〉 ・主治医研修〈2回、修了者数138人〉	高齢対策課				(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
46	栃木県シニアサポーター活動推進事業	備考のとおり	備考のとおり	高齢者	地域における高齢者の社会参加の情報収集及び普及啓発を行う「栃木県シニアサポーター」の活動を推進	シニアサポーターの委嘱を行うと共に、養成研修やフォローアップ研修を実施するなど、活動を支援 令和5(2023)年度委嘱数5名(令和6(2024)年3月31日現在55名)	高齢対策課	栃木県老人クラブ連合会への委託事業費 R5:19,047千円の一部 R6:19,040千円の一部		(3)				
47	老人クラブ支援事業	35,415	36,722	高齢者	老人クラブ（栃木県老人クラブ連合会、市町老人クラブ連合会、単位老人クラブ）に対して、生きがい対策事業を推進するための各種活動等を支援	老人クラブの育成指導や加入促進事業等を支援することにより、活動促進	高齢対策課			(3)				
48	シルバー人材センター支援事業	8,484	8,484	高齢者	栃木県シルバー人材センター連合会に対して、県下全域で円滑かつ効率的なシルバー人材センター事業が展開されるよう支援	各市町シルバー人材センター連合会の活動及び拠点シルバーを取りまとめる連合会の運営の支援 会員数：令和3年度9,116名、令和4年度8,814名、令和5年度8,944名	高齢対策課			(3)				
49	やってみっぺいちご隊活動事業	備考のとおり	備考のとおり	高齢者	活動意欲があるシニア世代の方を「やってみっぺいちご隊」として募集・登録し、社会参加活動への意識を高めて地域で活躍してもらうことで、生涯現役社会の実現に向けた機運醸成と社会参加活動へのきっかけづくりに取組	積極的に社会参加し、地域づくりの担い手として活躍する高齢者を「やってみっぺいちご隊」として募集・登録を実施 令和5(2023)年度登録者数（令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日）1,045人	高齢対策課	栃木県老人クラブ連合会への委託事業費 R5:19,047千円の一部 R6:19,040千円の一部		(3)				
50	元気シニア活躍推進モデル事業	備考のとおり	備考のとおり	高齢者	高齢者が身近な地域で継続的に社会参加することができる環境づくりのため、社会貢献活動等をモデル活動として実施し、活動の進め方や課題解決の方法を検証するとともに、その情報を各地域で共有することで、魅力ある社会参加活動の普及と活動意欲のある高齢者の活躍を推進	各活動に対し伴走型の支援を行った結果、すべてのモデルにおいて着実に取組が実施（令和5(2023)年度は3団体の事業を選定）。また、報告会では、令和4年度採択事業（最終年度）及び令和5年度採択事業（初年度）の取組の総括及び翌年度へ向けての課題の共有、活動の方向性の確認を行い、今後の取組につなげた。	高齢対策課	栃木県老人クラブ連合会への委託事業費 R5:19,047千円の一部 R6:19,040千円の一部		(3)				
51	★ケアラー支援知識向上研修事業	1,600	－	関係機関	地域包括支援センター職員等を対象に、高齢者以外の家族介護者のニーズや介護者支援にあたっての大切な視点、他分野の関係機関等と連携した家族介護者支援の意義や進め方等について学ぶことができる研修を実施し、地域包括支援センターの機能の強化・充実を図る。	－	高齢対策課			(2)				(2)
52	ピアサポーター養成事業	500	216	がん経験者	がん経験者がその治療体験等を活かし、患者の悩みや不安を傾聴することで患者の心理的負担を軽減する「ピアサポーター」を養成し、がん拠点病院が開催するがんサロン等において活動する。	実地研修（がん経験者交流会）2回 参加者9名,8名 フォローアップ研修会1回 参加者11名	健康増進課				(3)	(3)	(1)	(3)
53	小児慢性特定疾病等自立支援事業 （とちまるピアサポート事業）	34	8	小児慢性特定疾病の方をケアする人	ピアサポーターを養成するための研修や資質向上のための研修を実施する。 （ピアサポーター養成講座、フォローアップ研修）	・ピアサポーターフォローアップ研修 2回実施	健康増進課				(3)	(3)	(1)	(3)
54	難病相談支援センター事業 （難病相談支援員研修会参加費、ピア・サポーター養成研修会事業）	212	69	難病の方をケアする人	・難病相談支援員やピア・サポーターの資質向上のための研修を実施する。 ・ハローワークと連携し、難病患者に対し、症状を踏まえた就労や雇用継続等の支援を実施する。	・ピアサポーターフォローアップ研修 1回実施	健康増進課				(3)	(3)	(1)	(3)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
55	地域生活支援事業費等補助金	262,000	243,874	市町	障害者及び障害児の日常生活又は社会生活を支援するため、市町が行う相談支援、移動支援、日常生活用具給付、手話通訳等の派遣等の地域活動支援等事業に対して助成する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	障害福祉課			全てに該当				
56	心の輪を広げる障害者理解促進事業 障害者差別解消推進事業	109	96	県民	障害及び障害者に対する理解の促進のため、作文やポスターの募集や出前講座の実施などさまざまな啓発活動を推進する。	○作文・ポスターの募集・表彰 ・応募作品 体験作文 27編、ポスター 20点 ・入選作品 体験作文 16編、ポスター 14点 ・入選作品集 栃木県ホームページで公開 ・表彰式 R5(2023).12.5開催 ○出前講座 15回（延べ参加人数612人）	障害福祉課			(3)				
57	子ども若者・ひきこもり対策推進事業	31,724	31,724	こども・生徒	適切な理解や支援に向けた気運を醸成するため、ひきこもり、ニート、不登校等をテーマとした県民向け講演会を開催する。	参加者68名	障害福祉課 県民協働推進課			(3)				
58	子ども若者・ひきこもり対策推進事業	31,724	31,724	市町担当者、民生委員等	子ども若者・ひきこもり支援に携わる人材を養成する。	・ひきこもりサポーター養成研修、修了者16名 ・ひきこもり支援従事者向け研修、3回開催、修了者計96名	障害福祉課 県民協働推進課				(2)			(2)
59	医療的ケア児支援センター事業	23,592	13,331	県民	医療的ケア児支援センター事業の一環として、医療的ケア児に対する理解促進のための県民向け講演会を開催する。	参加者約150名	障害福祉課			(3)				
60	医療的ケア児支援センター事業	23,592	13,331	医療・保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	医療的ケア児支援センター事業の一環として、関係者の連携促進のための会議開催や医療的ケア児等コーディネーターをフォローアップし地域支援を促進するための研修会を開催する。	参加者16名 その他個別支援会議等への参加による連携促進（7事例） 各種会議への参加（33回） 新聞、ラジオ等の掲載（2回）	障害福祉課				(2)		(1)	(2)
61	高次脳機能障害支援事業	1,000	601	県民	高次脳機能障害に対する理解の促進のため、一般県民を対象とした高次脳機能障害セミナーの開催やパンフレットの作成を行うことで普及啓発を図る。	高次脳機能障害セミナー256名 パンフレット作成	障害福祉課			(3)				
62	発達障害者支援事業（発達障害者支援センター運営費）	2,006	1,030	県民	発達障害に対する理解の促進のため、一般県民を対象とした発達障害セミナーの開催やリーフレットの作成を行うことで普及啓発を図る。	発達障害セミナー790名 県政出前講座 10回 延べ268人 機関誌「ふぉーゆうだより」作成 リーフレット作成	障害福祉課			(3)				
63	発達障害者支援事業（発達障害者支援センター運営費）	2,006	1,030	保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	相談機関や障害者支援施設、医療機関等の職員に対して、発達障害者を支援する人材等の資質向上を図るための研修を実施する。	研修会10回 延べ748名	障害福祉課				(2)			(2)
64	権利擁護センター運営事業	90	72	障害福祉等サービス事業所	障害者虐待を受けた障害者の支援や擁護者に対する支援、虐待の防止に関する広報や啓発活動を行う。	県政出前講座 8回（延べ参加人数140人）	障害福祉課				(2)			(2)
65	自殺対策普及啓発事業	510	664	県民	自殺予防週間や自殺対策強化月間にラジオ広報や普及啓発物の配布を行い、自殺対策の理解促進や相談窓口の周知を行う。	ラジオ広報 2回 啓発物の配布 16,000個	障害福祉課			(3)				
66	依存症対策普及啓発事業	0	0	県民	アルコール健康障害、ギャンブル等依存症に関する問題啓発週間においてラジオ広報や啓発物の掲示や配布等を行い、各依存症に関する正しい知識の普及啓発や健康増進を図る。	県庁15階に依存症に関するタペストリーの展示2回	障害福祉課			(3)				
67	障害者相談支援体制推進事業	7,392	7,392	障害福祉等サービス事業所	障害者相談支援協働コーディネーターを配置し、困難事例や地域課題・ニーズの抽出に対する指導・助言などのスーパーバイズを行う。	スーパーバイズ延べ78件	障害福祉課				(2)	(1)		(2)
68	医療的ケア児等支援人材養成研修事業	363	270	医療・保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	様々な分野で医療的ケア児支援に携わる職員が医療的ケア児を支援に係る基本的な知識等を習得するための研修を開催する。	修了者89名	障害福祉課				(2)			(2)
69	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業	1,000	874	障害福祉等サービス事業所	医療的ケア児等コーディネーター養成により、身近な地域における相談支援体制を強化する。	修了者14名	障害福祉課				(2)		(1)	(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
70	障害者ケアマネジメント推進事業	4,985	2,078	障害福祉等サービス事業所	身近な地域における相談支援体制を強化するため、相談支援専門員を養成するとともに、指導的役割を担う主任相談支援専門員を養成する。	相談支援専門員 初任者研修70名、現任研修75名、主任研修10名修了	障害福祉課				(2)	(1)	(1)	(2)
71	高次脳機能障害支援事業	1,000	601	市町担当者、相談支援専門員、医療従事者等の支援者	支援者を対象に高次脳機能障害の特性や本人・家族への対応方法等の習得を目的とした研修を開催する。	相談支援研修（基礎編）207名、（専門編）161名 医療従事者研修87名	障害福祉課				(2)			(2)
72	障害者虐待防止体制整備事業	1,319	1,430	障害福祉等サービス事業所	障害者虐待の防止等の職務に携わる専門知識等を有する人材等の資質向上を図るための研修を実施する。	栃木県障害者虐待防止・権利擁護研修の実施 2回	障害福祉課				(2)			(2)
73	障害者社会参加総合推進事業（視覚障害者社会参加促進事業）	775	775	その他	点訳奉仕員、朗読奉仕員の養成事業の実施	点訳奉仕員養成事業：延べ11名参加 朗読奉仕員養成事業：延べ26名参加	障害福祉課				(2)			(2)
74	障害者社会参加総合推進事業（意思疎通支援事業）	1,276	970	その他	失語症者向け意思疎通支援者及び失語症者向け意思疎通支援者指導者の養成の実施	・栃木県失語症者向け意思疎通支援者養成事業研修、修了者7名 ・失語症者向け意思疎通支援者指導者研修会オンラインにて5名参加	障害福祉課				(2)			(2)
75	障害者社会参加総合推進事業（手話通訳者養成事業）	8,566	6,349	その他	手話通訳者の養成事業の実施	新規登録者数 6名 合計 157名	障害福祉課				(2)			(2)
76	障害者社会参加総合推進事業（要約筆記者養成事業）	3,473	3,219	その他	要約筆記者の養成事業の実施	新規登録者数 3名 合計 124名	障害福祉課				(2)			(2)
77	★心のサポート推進事業	3,843	－	県民（ケアラー）	県民を対象に精神障害に関する正しい知識と理解に基づき、身近な人に対して傾聴を中心とした支援を行う「心のサポーター」を養成するとともに、障害児養育の経験者等をピアサポーターとして養成・派遣し、家族の不安や悩みの軽減や解消を図るなど、社会全体で障害児の家族に寄り添いサポートする体制を整備していく。	－	障害福祉課			(1) (3)	(2) (3)	(1)	(2)	(1) (2)
78	障害者支援施設等職員研修	0	0	障害福祉等サービス事業所	障害者支援施設等職員が精神疾患を抱えている方々と専門的な立場で関わっていくために、精神疾患について基礎知識を習得するために実施。	研修会1回 オンライン開催 119人	精神保健福祉センター				(2)			(2)
79	依存症支援者研修会	123	123	その他	依存症相談支援者の資質向上を図るために実施	研修会3回 ハイブリット開催 187人 オンデマンド配信	精神保健福祉センター				(2)			(2)
80	思春期関連問題研修会	50	50	相談・教育等に関わる関係者	思春期の心の特徴及び問題と対応についての理解を深め、思春期の相談・教育等に関わる関係者の資質向上を図るために実施	研修会1回 オンライン開催 155人	精神保健福祉センター				(2)			(2)
81	学生指導	0	0	こども・生徒	臨地実習として、精神保健福祉分野について学生指導を実施	3校 12回	精神保健福祉センター				(2)			(2)
82	精神保健コンサルテーション	229	144	健康福祉センター、市	地域精神保健活動における処遇困難事例に対してコンサルテーションという手法を用いて支援する。	令和5年度実績 7回	精神保健福祉センター	相談支援関係者			(2)			(2)
83	地域自殺関連コンサルテーション	0	0	健康福祉センター、市	自殺既遂、未遂、頻回重傷自傷行為、自死遺族事例など自殺に関連する事例で地域に対してコンサルテーションを行う。	令和5年度実績 3回	精神保健福祉センター	相談支援関係者			(2)			(2)
84	ゲートキーパー養成研修	0	0	県民	ゲートキーパーの役割について理解し、対応について学ぶ。	令和5年度2回実施	精神保健福祉センター			(3)	(2)			(2)
85	自殺対策担当者研修	50	50	健康福祉センター、市町等相談担当者	自殺対策についての理解および相談技術向上を図るために実施	研修会2回 オンライン開催 113名	精神保健福祉センター				(2)			(2)
86	依存症理解促進事業	297	267	県民	依存症への理解を促し、早期の相談・治療につながるよう、ウェブサイトを活用し依存症の相談窓口、研修会やその他依存症に関する情報を発信する。	検索連動型広告、啓発用ウェブサイト運用 7	精神保健福祉センター			(3)				

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
87	民間団体支援事業(断酒ホトギス会)	350	350	その他	依存症関連問題の相談活動や市民公開講座実施等に要する経費への支援	市民公開講座 1回 パンフレット作成	精神保健福祉センター			(3)		柱書		
88	「ベルヴィー」摂食障害者家族教室	135	135	県民	摂食障害の問題で悩む家族のためのグループミーティング	12回実施 延べ20人参加	精神保健福祉センター			(3)		(3)		
89	「ガイドポスト」薬物依存を家族と共に考える会	20	20	県民	家族に対する心理教育的アプローチにより、薬物依存症についての正しい知識の獲得、回復に繋がる対応を学ぶとともに、家族同士の情緒的な相互サポート	11回実施 延べ73人参加	精神保健福祉センター			(3)		(3)		
90	ギャンブル等依存症家族教室	0	0	県民	ギャンブル問題を有する者の家族等がギャンブル等依存症について正しい知識を持ち、回復につながる対応を学ぶ。	4回実施 延べ34人参加	精神保健福祉センター			(3)		(3)		
91	頻回自傷・未遂者家族教室（スキルアップ家族教室）	0	0	県民	頻回な自傷または自殺未遂者の家族に対し、自傷行為に関する心理教育や当事者の理解を深めるために行う。	9回実施 延べ15人参加	精神保健福祉センター			(3)		(3)		
92	特定相談事業	0	0	県民	頻回自傷・未遂者等の本人及びその家族を対象に、特定相談日を設けて実施	17回実施（初回相談） 延べ222件	精神保健福祉センター			(3)		(1)		
93	ヤングケアラー総合支援事業（普及啓発事業）	1,634	6,151	県民	ヤングケアラーに関する社会的理解を促進するため、イベントの開催や動画による啓発を行う。	・イベント「とちぎヤングケアラー・フェスティバル」開催 来場者数約200名 ・ヤングケアラー理解促進ムービー「今日もわたしたちは家に帰る」の公開	こども政策課			(1)	(1)			
94	ヤングケアラー関係機関研修事業	1,036	187	市町、その他	ヤングケアラー支援に関する市町や福祉関係機関職員等への研修を行う	3回実施 延べ約120名参加	こども政策課			(1)	(1)			
95	とちぎ未来づくり財団青少年健全育成事業費	17,194	16,238	その他	栃木県青少年育成県民会議（公益財団法人とちぎ未来づくり財団）が実施する青少年健全育成に係る事業に対する助成	(ケアラー、ヤングケアラーに関する直接的な事業は無し)	県民協働推進課			(2)				
96	男女共同参画セミナーの開催	453	6,317	県民	男女共同参画の理念が深く浸透するよう、セミナーや研修等による啓発を実施し、男女共同参画社会の推進を図る。	・県民のつどい：1回 140名 ・公開講座（オンライン）：1回 196名 ・G7担当大臣会合記念シンポジウム：1回 300名 ・無意識の思い込みに関する新聞広告掲載・リーフレットの作成配布	人権男女共同参画課			(4)				
97	男性の家事・子育て・介護等への参加促進	2,944	2,928	県民	男性の家事・子育て・介護等への参画が促進するよう、各種講座や啓発を実施する。	・男の料理教室：2回 延べ40名 ・イクメン応援講座：3回 36名 ・男性のワーク・ライフ・バランス講座：2回 52名	人権男女共同参画課			(4)				
98	ヒューマンフェスタとちぎの開催	5,561	5,544	県民	県民一人ひとりが人権尊重意識の高揚を図れるようにするため啓発事業を実施する。	・ヒューマンフェスタとちぎ：当日参加者270名 ※WEB配信実施	人権男女共同参画課			(4)				
99	仕事と家庭の両立啓発事業	0	0	その他事業者	育児・介護休業法、男女雇用機会均等法等の仕事と家庭の両立支援に関する制度や仕事と家庭の両立に積極的に取り組む企業の先進事例について県ホームページを活用し広く情報提供を行うとともに、国・県の施策の最新情報、制度内容、企業の取り組み事例等をメール配信する。	メールマガジン発行数：12回	労働政策課			(1),(4)				
100	仕事と家庭の両立応援宣言企業普及事業	0	0	その他事業者	企業において従業員の仕事と家庭の両立等を応援するために事業主自らが宣言した具体的な取組を県に登録し、それを広く紹介することにより、仕事と家庭の両立支援の普及を図る。	企業数：104 宣言数：407	労働政策課			(1),(4)				
101	人権教育の推進	0	0	教員	教職員に子どもの人権に関する理解促進を図るとともに、人権教育に関する資料の作成や研修の支援を行うなど、人権尊重の精神を育む教育の充実に向けた取組を推進する。	・「人権教育推進の手引」作成・配布 ・子どもの人権に関する指導者用資料の作成・配布（データ配布） ・「人権教育推進のための支援訪問」の実施	教育政策課			(4)				
102	人権教育の推進	0	0	こども・生徒	児童生徒に子どもの人権に関する理解促進を図るとともに、人権教育に関する資料の作成を行うなど、人権尊重の精神を育む教育の充実に向けた取組を推進する。	・学習資料「人権の窓」の作成・配布（データ配布）	教育政策課			(4)				

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
103	問題行動等未然防止プログラム事業	179	22	教員	教職員の資質・対応力向上に向け、各学校における児童・生徒指導上の諸課題への対応や、ヤングケアラー支援に関する研修会を開催する。	○ ヤングケアラー支援に関する研修会 2回	学校安全課			(2)	(2)			
104	スクールソーシャルワーカー研修会	411	247	○ 県スクールソーシャルワーカー ○ 市町スクールソーシャルワーカー ○ 県S SWの業務に関心のある者	○ スクールソーシャルワーカーの資質向上と業務遂行に必要な見識を高めるため研修会を実施する。 ○ 県スクールソーシャルワーカーとして活躍が期待される、福祉に関する知識や技術を備えた人材を養成するため研修会を実施する。	○ 県スクールソーシャルワーカー研修会 2回 ○ 新任県スクールソーシャルワーカー研修会 1回 ○ 栃木県スクールソーシャルワーカー養成研修会 3回	学校安全課			(2)	(2) (3)		(1)	(2) (3)

「栃木県ケアラー支援推進計画」 関連事業【施策2:相談・支援体制の充実】

資料 1 - 2

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
1	重層的支援体制整備事業交付金	86,878	33,825	市町	「重層的支援体制整備事業」を実施する市町に対し、介護、障害、子ども、困窮の各法に基づく事業に要する経費を一体的に交付する。	重層的支援体制整備事業を実施する市町（宇都宮市、栃木市、市貝町、野木町の4市町）に交付	保健福祉課					(2)	(3)	
2	栃木県孤立死防止見守り事業 (とちまる見守りネット)	17	0	その他事業者	社会的援護を必要とする全ての県民を地域全体で見守るネットワークを構築し、地域住民の孤立死防止に向けて、市町及び協力事業者等による見守りを行う。	・協定締結事業者数 28事業者等 (県警・県民生委員児童委員協議会を含む) ・連絡会議開催（1回）	保健福祉課					(1)		
3	従事者養成等研修	421	421	自立相談支援員等	相談支援員等の養成やスキルアップを目的とした研修を開催する。	・生活困窮者自立支援制度従事者研修 3回開催	保健福祉課		再掲		(2)	(1)		(2)
4	自立相談支援事業	62,180	45,041	生活困窮者	生活困窮者の就労その他の自立に関する問題について相談に応じ、生活困窮者の課題の評価、分析等を実施し、自立に必要な支援を行う。	・新規相談受付件数467件 ・プラン作成件数43件 ・就労支援対象者数33人（県実施分）	保健福祉課					(1)		
5	学習支援等事業	23,603	23,602	生活困窮者	生活困窮世帯の児童等に対する学習支援等を行う。	・利用者数 145名（県実施分）	保健福祉課					柱書		
6	家計改善支援事業	146	0	生活困窮者	家計に関する継続的な指導及び資金のあっせんを行う。	・利用件数 24件（県実施分）	保健福祉課					柱書		
7	地域支援事業交付金	1,807,189	1,089,519	市町	介護保険の被保険者が要介護状態等になるのを予防すること及び要介護状態等になった場合であってもできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として、市町が実施する地域支援事業に対して交付金を交付する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	高齢対策課		再掲	全てに該当				
8	家族介護者交流会事業	300	124	高齢者をケアする人	認知症の人を介護している家族が、介護に関する知識や技術を知ること、認知症の人とその家族の心身負担を軽減し、また、介護者同士の交流を図ることで、介護者が孤立することなく、互いにサポートできる体制整備を図る事業	・家族介護者交流会の開催〈1回、参加者数60人〉	高齢対策課		再掲	(1)、(3)、(4)		全てに該当		
9	出張どこでも認知症カフェ開催事業	410	410	高齢者をケアする人	各市町において、認知症の本人の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映できるよう、認知症の本人が、自身の希望や必要としていること等を本人同士で語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域の在り方を一緒に話し合う場である本人ミーティングの取り組みを実施することが求められていることから、認知症の本人による本人ミーティングを参加者がくつろいで話せるよう、なじみのある認知症カフェ形式で開催することで、各市町における本人ミーティング開催に向けた支援を図る事業	・出張どこでも認知症カフェの開催〈3回、参加者数137人〉	高齢対策課		再掲	全てに該当	(1),(2)	全てに該当	(2),(3)	(2)
10	認知症地域支援推進員活動促進事業	287	130	県民	認知症地域支援推進員の活動を促進するため、市町間の連携を図る連絡会の開催や、認知症地域支援推進員の役割や配置先を記載したリーフレット等を作成し、普及・啓発を図ることを目的とした事業	・連絡会の開催〈1回、参加者数24人〉 ・リーフレットの印刷及び配布〈15,000枚〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
11	認知症医療連携体制構築事業費	3,723	2,871	県民	認知症を早期に発見し、診断することが重要であることから、それらに対応する認知症サポート医等をとちぎオレンジドクターとして登録し、ポスター等により周知するとともに県内全域に認知症の初期から中等度の症状等に対応できる認知症医療連携体制の構築を目的とした事業	・研修会の開催〈2回、参加者数116人〉 ・新規登録者数18名〈登録証を作成・配布〉 ・ポスターの印刷及び配布〈5,200枚〉 ・リーフレットの印刷及び配布〈52,000枚〉	高齢対策課		再掲	(2)	(2)	(1)		(1)
12	若年性認知症対策推進事業	1,383	1,297	県民、事業者	若年性認知症支援コーディネーターを養成・配置し、若年性認知症の人やその家族、若年性認知症の人が利用する関係機関及び若年性認知症の人を雇用する企業等からの各種相談に応じ、必要な支援制度やサービス等を紹介すると共に、相談内容に応じて、医療・福祉・就労・家族等支援等とネットワークを構築し、関係機関と連携して若年性認知症の方及びその家族への支援を実施する事業	・電話相談18件 ・若年性認知症支援コーディネーターの配置〈2人〉 ・若年性認知症支援ネットワーク会議の開催〈1回〉 ・若年性認知症支援に係る市町職員等研修会〈1回、参加者数38人〉 ・関係機関等への支援〈認定産業医研修への参加〉	高齢対策課		再掲	(4)	(3)	(1)	(1)、(3)	(1)、(3)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
13	生活支援体制整備活動事例集	0	0	県民	高齢者が安心して自立した生活を送ることのできる環境づくりのためには、公的サービスの充実はもとより、地域で互いに支え合って暮らすことのできる地域づくりを進めることが重要であり、そういった、県内の地域の取り組みの状況を記載した事例集を作成し、県HPにて掲載するとともに、各種会議等の際に冊子を配布	・冊子の配布 ・県HPへの掲載	高齢対策課					(1)		
14	認知症サポーター等養成事業	134	160	高齢者をケアする人	地域における認知症の普及啓発を充実させるため、認知症サポーター養成講座を実施するとともに、サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトの要請及び活動事例に関する報告会を開催する事業	・認知症サポーター養成講座の開催〈12回、修了者数793名〉 ・キャラバン・メイト養成講座の開催〈1回、修了者数87名〉	高齢対策課		再掲	全てに該当	全てに該当	(1)、(2)	(3)	全てに該当
15	とちぎまるっとオレンジプロジェクト	3,306	2,844	県民	認知症の人が認知症とともにによりよく生きていくことができるよう、社会全体で認知症の人を支える基盤として、認知症の人の視点に立って認知症への社会の理解を深めるための普及・啓発を目的とした事業	・下野新聞へ新聞広告の制作及び掲載の委託	高齢対策課		再掲	全てに該当		(1)		
16	認知症電話相談事業	1,886	1,886	高齢者をケアする人	認知症の人やその家族が抱える不安や悩みなどの相談に対し、地域包括支援センターなど関係機関の案内や認知症介護に関する助言、介護サービスの利用方法などの支援を実施する事業	・電話相談148件 ・来所相談90件	高齢対策課					(1)		
17	高齢者虐待防止推進事業	90	86	市町	高齢者虐待防止啓発リーフレットの配布等による啓発活動や市町職員を対象とした研修を実施する事業	・リーフレットの配布〈1,560部〉 ・高齢者虐待対応初級研修(1回 47名) ・市町担当課長向け高齢者虐待対応研修(1回 15名)	高齢対策課		再掲	(4)	(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
18	生活支援コーディネーター養成事業	1,996	1,245	県民	住民主体の助け合いによる地域づくりや、日常生活支援サービスに係る地域のニーズとボランティア、NPO等の地域資源のマッチングなどを行うために市町等に配置される生活支援コーディネーターの育成を図る研修のほか、県内の先進事例を発表するフォーラムの開催、協議体等への助言を行う生活支援体制整備アドバイザー派遣を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数27人〉 ・住民主体の地域支え合い推進フォーラムの開催〈1回、参加者数133人〉 ・生活支援体制アドバイザーの派遣〈5市町、延べ7回〉	高齢対策課		再掲		(3)	(1)、(2)	(1)、(3)	全てに該当
19	地域包括支援センター職員研修事業	834	834	地域包括支援センター	地域包括支援センター意義、役割、その業務、他の専門職との連携等について理解し、業務を行う上で必要な知識の習得及び技能の向上目的とした研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数45人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
20	介護予防従事者研修事業	622	622	地域包括支援センター	介護予防プランを作成する、介護支援専門員及び地域包括支援センター職員の資質向上を図ることを目的とした研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈2回、修了者数99人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数35人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
21	リハビリテーション専門職等研修会事業	318	318	その他事業者	高齢者の生活機能低下に対しての働きかけにあたって協力が必要不可欠なりハビリテーション専門職等に対して、通所型サービス、訪問型サービス、地域ケア会議等に積極的に関与できるよう、必要な情報や知識を習得させることを目的とした研修を実施する事業	・リハビリテーション専門職等研修会の実施〈1回、参加者24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
22	住民主体介護予防推進支援事業	884	92	市町	住民主体による介護予防に係る取り組みの促進のため、市町職員等の行政担当者に対する研修や専門職を対象としたフレイルアドバイザー養成、住民を対象としたフレイルサポーター養成を実施する事業	・介護予防・生活支援市町職員研修会〈1回、修了者数59人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
23	市町担当者養成事業	410	22	市町	地域包括ケアシステムの構築について、住民に最も身近な市町が責任を持ってそれぞれの地域の特性を十分に活かしながらシステム構築に取り組むことができるよう、システム構築を担当する職員を対象に、地域包括ケアシステム構築の総括担当者として求められる各種マネジメントや実務担当者の実務能力を養成するための研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数25人〉 ・課長級研修の開催〈1回、修了者数13人〉 ・フォローアップ研修の開催〈1回、修了者数14人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
24	認知症地域支援推進員研修事業	1,140	1,102	市町	市町が設置、運営する認知症地域支援推進員に対して、国が実施する質の確保に資する研修へ派遣することを目的とした事業	・新任者研修への派遣〈8回、修了者数22人〉 ・現任者研修への派遣〈6回、修了者数7人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
25	認知症サポート医研修事業	2,250	900	医療機関	認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成するため、国が実施する研修へ派遣する事業	・認知症サポーター医養成研修への派遣〈5回、修了者数18人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
26	かかりつけ医認知症対応力向上研修事業	1,269	450	医療機関	高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医〈かかりつけ医〉に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施することにより、認知症サポート医との連携の下、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じた認知症の人への支援体制の構築を図るため、かかりつけ医の認知症対応力向上を目的とした研修を実施する事業	・かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施〈2回、修了者数24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
27	医療従事者向け研修事業	3,677	3,129	医療機関	認知症の人が利用する病院の医療従事者や歯科医師、薬剤師、看護師、病院勤務以外の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基礎知識や医療と介護の連携の重要性等を習得するための研修を実施する事業	・病院勤務の医療従事者向け研修の開催〈7回、修了者数247人〉 ・歯科医師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数19人〉 ・薬剤師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数50人〉 ・看護職員認知症対応力向上研修の開催〈1回、修了者数72人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
28	介護に関する入門的研修事業	2,250	1,749	高齢者をケアする人	地域における介護人材の育成のため、県・市町が介護未経験者を対象に入門的研修を実施する事業	実施市町：9市町 県実施：2回	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
29	介護人材キャリアパス支援事業	5,000	4,559	介護等サービス事業所	介護職員に対し、適切なキャリアパス及びスキルアップを図るための研修を実施する事業	介護福祉士国家試験対策講座、小規模事業所資質向上研修、スキルアップ研修、サービス提供責任者研修、高齢者権利擁護推進研修	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
30	介護福祉士等修学資金貸付事業	9,230	147,967	県民	介護福祉士養成施設や福祉系高校の学生等に対して、入学準備金や介護実習費などの資金貸付を行う。	介護福祉士修学資金貸付：147名 福祉系高校修学資金貸付：43名 介護福祉士実務者研修受講資金貸付：62名	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
31	市町認知症施策推進連絡会開催事業	337	100	市町	市町が実施する認知症施策の円滑な実施に向けて、有識者等の講演や、先進事例の紹介、チームオレンジコーディネーターの養成を行う研修等を実施する事業	・チームオレンジコーディネーターフォローアップ研修の開催〈1回、24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
32	認知症初期集中支援チーム員研修事業	1,000	640	市町	市町が設置、運営する認知症初期集中支援チーム員に対して、必要な知識及び技術を習得するための研修を実施することを目的とした事業	・市町職員の研修事業の参加料負担〈7回、修了者数16人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
33	認定調査員等研修事業	869	506	市町	介護保険制度を円滑かつ適正に実施するため、要介護認定関係者、介護支援専門員に対する養成等に関する研修を実施する事業	・認定調査員現任研修〈1回、修了者数112人〉 ・介護認定審査会委員現任研修〈1回、修了者数117人〉 ・主治医研修〈2回、修了者数138人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
34	難病相談支援センター事業 （講演会開催事業）	185	176	難病の方をケアする人	全県域の難病患者、家族を対象とした難病講演会（なんびょうサポートとちぎのつどい）を開催する。	・1回実施、参加者130人	健康増進課		再掲	(3)		(3)		
35	小児慢性特定疾病等自立支援事業 （とちまるピアサポート事業）	34	8	小児慢性特定疾病の方をケアする人	ピアサポーターを養成するための研修や資質向上のための研修を実施する。 （ピアサポーター養成講座、フォローアップ研修）	・ピアサポーターフォローアップ研修 2回実施	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
36	難病相談支援センター事業 （難病相談支援員研修会参加費、ピア・サポーター養成研修	212	69	難病の方をケアする人	・難病相談支援員やピア・サポーターの資質向上のための研修を実施する。 ・ハローワークと連携し、難病患者に対し、症状を踏まえた就労や雇用継続等の支援を実施する。	・ピアサポーターフォローアップ研修 1回実施	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
37	難病相談支援センター事業 （各種相談支援事業、患者家族交流会事業、ピア・サポート事業）	3,363	3,154	難病の方をケアする人	患者家族の療養上、日常生活上の不安や悩みの解消のため、難病相談支援員による相談対応、ピア・サポーターによる精神的支援等を実施する。	・R5年度相談件数 839人 （相談支援員への相談、医療相談、ピアサポーター相談の合計）	健康増進課					(1)		
38	難病患者地域支援対策推進事業 （在宅療養支援計画策定・評価、在宅難病患者訪問相談事業、在宅難病患者支援事業）	2,310	2,187	難病の方をケアする人	患者家族の不安や悩みを解消し、地域で安心して療養できるよう、関係機関と連携しながら相談支援等を実施する。	・健康福祉センターの訪問相談延べ人数 532人 ・難病団体主催による医療相談、研修会等参加者 1,050人	健康増進課					(1)		
39	小児慢性特定疾病等自立支援事業 （療育相談事業、巡回相談事業、とちまるピアサポート事業）	896	548	小児慢性特定疾病の方をケアする人	患者家族の不安や悩みの解消のため、保健師等による訪問相談やピアサポーターによる精神的支援等を実施する。	・R5年度相談件数 113人 （健康福祉センターの訪問相談、ピアサポーター相談の合計）	健康増進課					(1)		
40	在宅難病患者支援事業 （患者団体主催による医療相談・広報・研修会等）	1,583	1,583	難病の方をケアする人	在宅で療養している難病患者等及びその家族が安心して療養する環境を作るため、患者団体が専門医師等の協力を得て、相談指導事業を実施する。	・R5年度参加者数 1,050人	健康増進課					(1)		
41	小児慢性特定疾病等自立支援事業 （一時入院支援事業、介護者支援事業）	3,639	3,344	小児慢性特定疾病の方をケアする人	患者家族の負担軽減のため、患者の一時的な入院への支援や家政婦等による家事援助を実施する。	・一時入院支援事業 利用決定人数58人 ・介護者支援事業 利用決定人数19人	健康増進課					柱書		
42	難病患者地域支援対策推進事業 （難病患者在宅介護支援事業）	8,071	6,195	難病の方をケアする人	患者家族の負担軽減のため、患者の一時的な入院への支援や家政婦等による家事援助を実施する。	・一時入院支援事業 利用決定人数72名 ・介助人派遣事業 利用決定人数48名	健康増進課					柱書		
43	在宅ターミナルケア支援事業	1,296	301	市町	20歳から39歳までの末期がん患者に対して、自宅で自分らしく安心して日常生活を送るため、介護等に係る費用の支援を行う市町への補助を行う。	3市（宇都宮市、足利市、栃木市）へ交付した。 ※支援制度がある県内市町は5市（宇都宮市、足利市、栃木市、小山市、真岡市）	健康増進課					柱書		

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
44	ピアサポーター養成事業	500	216	がん経験者	がん経験者がその治療体験等を活かし、患者の悩みや不安を傾聴することで患者の心理的負担を軽減する「ピアサポーター」を養成し、がん拠点病院が開催するがんサロン等において活動する。	実地研修（がん経験者交流会）2回 参加者9名,8名 フォローアップ研修会1回 参加者11名	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
45	難病相談支援センター事業 （講演会開催事業）	185	－	難病の方をケアする人	全県域の難病患者、家族を対象とした難病講演会（なんびょうサポートとちぎのつどい）を開催する。	・R5年度参加者数 130人	健康増進課					(3)		
46	★ケアラー支援訪問看護事業	27,600	－	医療的ケアを受けている難病患者等を介護する家族等	レスパイトのための訪問看護の利用を広く可能とする「ケアラー支援訪問看護事業」を創設することで、家族が行うケアを看護師が担うことにより、社会から孤立することなく、安心して社会生活ができる機会の提供を目指す。	－	健康増進課					柱書		
47	地域生活支援事業費等補助金	262,000	243,874	市町	障害者及び障害児の日常生活又は社会生活を支援するため、市町が行う相談支援、移動支援、日常生活用具給付、手話通訳等の派遣等の地域活動支援等事業に対して助成する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	障害福祉課		再掲	全てに該当				
48	障害福祉サービス費	0	0	障害者をケアする人	障害者のケアをする人及び利用者本人が適切にサービスを選択できるよう、障害福祉サービス事業者等の情報を公表する。	障害福祉サービス事業所等の一覧を県ＨＰで公表	障害福祉課					(1)		
49	障害者ケアマネジメント推進事業	4,985	2,078	障害福祉等サービス事業所	身近な地域における相談支援体制を強化するため、相談支援専門員を養成するとともに、指導的役割を担う主任相談支援専門員を養成する。	相談支援専門員 初任者研修70名、現任研修75名、主任研修10名修了	障害福祉課		再掲		(2)	(1)	(1)	(2)
50	★障害児通所支援事業所受入促進事業	8,000	－	事業所 (ケアラー)	医療的ケア児等の受入体制を整備するため、受入に必要な設備整備及び備品購入を助成することで、通所支援事業所における医療的ケア児等の受入を促進し、家族の健康的な日常生活を支える環境を整備する。	－	障害福祉課					(1)		
51	★心のサポート推進事業	3,843	－	県民 (ケアラー)	県民を対象に精神障害に関する正しい知識と理解に基づき、身近な人に対して傾聴を中心とした支援を行う「心のサポーター」を養成するとともに、障害児養育の経験者等をピアサポーターとして養成・派遣し、家族の不安や悩みの軽減や解消を図るなど、社会全体で障害児の家族に寄り添いサポートする体制を整備していく。	－	障害福祉課		再掲	(1) (3)	(2) (3)	(1)	(2)	(1) (2)
52	「ベルヴィー」摂食障害者家族教室	135	135	県民	摂食障害の問題で悩む家族のためのグループミーティング	12回実施 延べ20人参加	精神保健福祉センター		再掲	(3)		(3)		
53	「ガイドポスト」薬物依存を家族と共に考える会	20	20	県民	家族に対する心理教育的アプローチにより、薬物依存症についての正しい知識の獲得、回復に繋がる対応を学ぶとともに、家族同士の情緒的な相互サポート	11回実施 延べ73人参加	精神保健福祉センター		再掲	(3)		(3)		
54	ギャンブル等依存症家族教室	0	0	県民	ギャンブル問題を有する者の家族等がギャンブル等依存症について正しい知識を持ち、回復につながる対応を学ぶ。	4回実施 延べ34人参加	精神保健福祉センター		再掲	(3)		(3)		
55	頻回自傷・未遂者家族教室（スキルアップ家族教室）	0	0	県民	頻回な自傷または自殺未遂者の家族に対し、自傷行為に関する心理教育や当事者の理解を深めるために行う。	9回実施 延べ15人参加	精神保健福祉センター		再掲	(3)		(3)		
56	特定相談事業	0	0	県民	頻回自傷・未遂者等の本人及びその家族を対象に、特定相談日を設けて実施	17回実施（初回相談） 延べ222件	精神保健福祉センター		再掲	(3)		(1)		
57	ヤングケアラー総合支援事業 （子育て世帯訪問支援事業）	7,380	－	市町	ヤングケアラー等課題を抱える家庭を対象に、必要な家事・育児支援を行う訪問支援員を派遣する市町に対する助成	－	こども政策課					(1)		
58	ヤングケアラー総合支援事業 （ピアサポート団体支援・育成事業）	700	－	ヤングケアラーに関するピアサポート団体（今後活動しようする方を含む）	ヤングケアラーに係るピアサポート活動の充実に向けた研修等の実施、団体間のネットワーク化支援等	－	こども政策課					(3)		
59	ひとり親家庭等日常生活支援事業	1,258	958	ひとり親家庭	ひとり親家庭等に対する生活援助・子育て支援の支援員の派遣（ひとり親連合会への委託により実施）	派遣家庭件数：38件 派遣延べ回数：89件	こども政策課					(1)		

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
60	とちぎ男女共同参画センターにおける相談支援	43,654	36,794	県民	とちぎ男女共同参画センターにおいて、総合相談を実施する。	・電話相談：5,061件 ・面接相談：169件 ・男性相談：192件	人権男女共同参画課					(1)		
61	スクールソーシャルワーカー活用事業	98,840	85,079	宇都宮市を除く公立小・中学校、義務教育学校、県立中学校、県立高校、県立特別支援学校	様々な課題を抱えた児童生徒の置かれた環境の改善を図るため、県スクールソーシャルワーカーを全中学校区（宇都宮市を除く）及び県立学校に配置し、関係機関等と連携しながら福祉的な支援が必要な家庭への支援体制を構築する。	○ 学校訪問：8,995回（個別事案への助言、児童生徒の観察支援、保護者の相談対応等） ○ ケース会議：689回（学校、関係機関が開催するケース会議への出席） ○ 家庭訪問：1,703回（児童生徒、保護者の家庭訪問による相談支援） ○ 関係機関訪問：994回（市町教委、福祉部局、警察等への訪問による情報交換等） ○ 電話来校相談：921回（児童生徒、保護者等への相談対応等） ○ 研修会講師：503回（学校等が主催する研修会での講話、指導助言） (2) 主な相談・支援の内容 ○ 不登校：12,195件 ○ 家族環境：11,082件 ○ 発達障害：5,297件 ○ 集団不適応：5,377件	学校安全課				(1)	(1)	(2) (3)	
62	S N S を活用した相談事業	6,173	7,894	市町立中学校・義務教育学校、県立学校、私立中学校・高等学校等に在席する生徒	生徒が抱える悩み等の深刻化を防止するため、専門業者への委託によりSNS(LINE)を活用した相談体制を構築する。	○ 相談日数：67日間 ○ 登録者数：344人 ○ 相談対応数：562件 ○ 主な相談内容 友人関係：71件、心身の健康：70件、学業進路：27件	学校安全課	市町立中学校及び義務教育学校(後期課程)154校、県立学校87校【県立附属中学校、県立高等学校、県立特別支援学校(中・高等部)】、宇都宮大学共同教育学部附属中学校・特別支援学校(中学部・高等部)、私立中学校・高等学校16校に在籍する生徒とする(約110,000人)。				(1)		
63	スクールカウンセラー等活用事業	214,227	200,874	小・中学校の児童生徒及び保護者等	スクールカウンセラーを配置することにより、各学校における教育相談体制の充実及び児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決を図る。	原則、中学校を拠点校、その学校区の小学校を対象校とし、全公立小・中学校に配置している。	義務教育課					(1)		
64	スクールカウンセラー等活用事業	47,303	40,682	県立高等学校	学校の教育相談体制の充実を図るために、県立高等学校にスクールカウンセラー等の配置を行う。	県立高等学校51校に対して、スクールカウンセラー等を配置した。	高校教育課					(1)		

「栃木県ケアラー支援推進計画」 関連事業【施策3:関係機関等の連携強化】

資料 1 - 3

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
1	重層的支援体制整備事業交付金	86,878	33,825	市町	「重層的支援体制整備事業」を実施する市町に対し、介護、障害、子ども、困窮の各法に基づく事業に要する経費を一体的に交付する。	重層的支援体制整備事業を実施する市町（宇都宮市、栃木市、市貝町、野木町の4市町）に交付	保健福祉課		再掲			(2)	(3)	
2	包括的支援体制構築促進事業	180	42	市町	行政・市町社会福祉協議会等による「地域共生社会スタディグループ」を設置、研修会を開催し、「地域共生社会」の実現に向けた基盤整備を進める。	・令和5(2023)年度とちまる地域共生社会推進研修会開催 R5.6.29 栃木総合文化センター特別会議室 参加者約90名	保健福祉課		再掲	(2)			(2)	
3	小地域福祉活動推進セミナー（地域福祉等推進特別支援事業）	220	220	市町	地域住民と行政、民間福祉サービス事業者等が地域福祉について共に考える「小地域福祉活動推進セミナー」を開催し、先進事例等の研究や意見交換を行う。	・R6(2024).3.12「地域共生社会シンポジウム」開催（参加者95名） ・有識者等による特別講演、パネルディスカッションを実施	保健福祉課		再掲	(1)			(2)	
4	相談支援コーディネーター養成研修事業	1,272	1,103	市町行政、社会福祉協議会職員、地域包括支援センターなどの相談支援機関職員等	多様化・複合化した課題を抱える個人や世帯の相談を受け止め、多機関協働事業等を通じて適切な支援につなぐ役割を担う「相談支援コーディネーター」を養成する研修を開催する。	・相談支援コーディネーター養成研修 R5(2023).7.3～R5(2023).9.28 修了者 43名 研修日程：上記期間のうち6日間 延べ30時間	保健福祉課		再掲		(3)		(1)	(3)
5	福祉ボランティア活動推進事業	16,979	18,231	県民	福祉ボランティア団体のネットワーク化、市町ボランティア連絡協議会の組織強化及びボランティア活動の相談等事業を推進するための支援を行う。 また、とちぎ福祉プラザボランティアルーム内にボランティアコーディネーターを設置し、各種相談援助事業を行うことにより、ボランティア活動の推進を図る。	・福祉ボランティアネットワーク化推進事業 研修会 R6(2024).3.11 参加者11名 ・福祉ボランティア団体育成・指導事業 研修会：5会場 計5回 参加人数：計145名 ・福祉ボランティアコーディネート相談事業 来所・電話相談 2,978件	保健福祉課		再掲		(3)		(1)	(3)
6	ボランティア振興事業	8,526	8,209	こども・生徒	概ね中学校区を単位とした地域を指定し、複数の小・中学校と市町社協が主体となり、ボランティア活動を中心とした福祉教育を推進するほか、教育関係者等を対象にした福祉教育推進セミナーを開催する。 また、各市町におけるボランティアコーディネーターの配置促進、スキルアップを目的にセミナーを開催する。	・福祉教育推進事業 セミナー R5(2023).8.4開催 参加者42名 国際医療福祉大学 大石准教授 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係 倉野主任 ・福祉教育推進リーダー養成研修 R5(2023).12.18開催 参加者18名 国際医療福祉大学 大石准教授 ・指定地域への助成：壬生町 ・ボランティアコーディネーションセミナー 令和5(2023).7.11 参加者15名 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 専務理事・事務局長 土崎 雄祐氏	保健福祉課		再掲	(1)	(3)		(1)	(3)
7	連絡調整会議の実施	10	0	市町	各支援機関の相談支援員や各市町の生活困窮者自立支援制度担当者を対象に、行政連絡等を行う連絡調整会議を開催する。	・自立相談支援機関連絡調整会議 1回開催（書面開催）	保健福祉課						(2)	
8	★ケアラー支援ガイドライン作成事業	15,000	－	県民 ケアラー	支援が必要なケアラーに気づくポイントや、ケアラー支援における留意点、連携スキームなどの具体的な手法や、取組の好事例などを盛り込んだ関係機関向けのガイドラインを作成し、県全体で共通認識を持ってケアラーを支援する体制を構築する。	－	保健福祉課 (各課)		再掲	(2)	(1)		(3)	
9	地域支援事業交付金	1,807,189	1,089,519	市町	介護保険の被保険者が要介護状態等になるのを予防すること及び要介護状態等になった場合であってもできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として、市町が実施する地域支援事業に対して交付金を交付する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	高齢対策課		再掲	全てに該当				

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
10	出張どこでも認知症カフェ開催事業	410	410	高齢者をケアする人	各市町において、認知症の人本人の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映できるよう、認知症の人本人が、自身の希望や必要としていること等を本人同士で語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域の在り方を一緒に話し合う場である本人ミーティングの取り組みを実施することが求められていることから、認知症の人本人による本人ミーティングを参加者がくつろいで話せるよう、なじみのある認知症カフェ形式で開催することで、各市町における本人ミーティング開催に向けた支援を図る事業	・出張どこでも認知症カフェの開催〈3回、参加者数137人〉	高齢対策課		再掲	全てに該当	(1),(2)	全てに該当	(2),(3)	(2)
11	課題解決型市町支援事業	2,072	0	市町	市町が保険者機能を発揮し、高齢者の自立支援・重度化防止等に資する取組を実施するために、現状分析、実態把握、地域課題分析等を支援するために研修の実施や県職員の市町訪問及び助言者の派遣を行う事業	厚生労働省事業「地域づくり加速化事業」に参加し、市町への伴走支援を行った。(2市町)	高齢対策課		再掲			(1)、(2)	(2)、(3)	(2)
12	認知症地域支援推進員活動促進事業	287	130	県民	認知症地域支援推進員の活動を促進するため、市町間の連携を図る連絡会の開催や、認知症地域支援推進員の役割や配置先を記載したリーフレット等を作成し、普及・啓発を図ることを目的とした事業	・連絡会の開催〈1回、参加者数24人〉 ・リーフレットの印刷及び配布〈15,000枚〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
13	若年性認知症対策推進事業	1,383	1,297	県民、事業者	若年性認知症支援コーディネーターを養成・配置し、若年性認知症の人やその家族、若年性認知症の人が利用する関係機関及び若年性認知症の人を雇用する企業等からの各種相談に応じ、必要な支援制度やサービス等を紹介すると共に、相談内容に応じて、医療・福祉・就労・家族等支援等とネットワークを構築し、関係機関と連携して若年性認知症の方及びその家族への支援を実施する事業	・電話相談18件 ・若年性認知症支援コーディネーターの配置〈2人〉 ・若年性認知症支援ネットワーク会議の開催〈1回〉 ・若年性認知症支援に係る市町職員等研修会〈1回、参加者数38人〉 ・関係機関等への支援〈認定産業医研修への参加〉	高齢対策課		再掲	(4)	(3)	(1)	(1)、(3)	(1)、(3)
14	認知症サポーター等養成事業	134	160	高齢者をケアする人	地域における認知症の普及啓発を充実させるため、認知症サポーター養成講座を実施するとともに、サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトの要請及び活動事例に関する報告会を開催する事業	・認知症サポーター養成講座の開催〈12回、修了者数793名〉 ・キャラバン・メイト養成講座の開催〈1回、修了者数87名〉	高齢対策課		再掲	全てに該当	全てに該当	(1)、(2)	(3)	全てに該当
15	高齢者虐待防止推進事業	90	86	市町	高齢者虐待防止啓発リーフレットの配布等による啓発活動や市町職員を対象とした研修を実施する事業	・リーフレットの配布〈1,560部〉 ・高齢者虐待対応初級研修(1回 47名) ・市町担当課長向け高齢者虐待対応研修(1回 15名) ・高齢者虐待対応フォローアップ研修(1回 24名)	高齢対策課		再掲	(4)	(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
16	生活支援コーディネーター養成事業	1,996	1,245	県民	住民主体の助け合いによる地域づくりや、日常生活支援サービスに係る地域のニーズとボランティア、NPO等の地域資源のマッチングなどを行うために市町等に配置される生活支援コーディネーターの育成を図る研修のほか、県内の先進事例を発表するフォーラムの開催、協議体等への助言を行う生活支援体制整備アドバイザー派遣を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数27人〉 ・住民主体の地域支え合い推進フォーラムの開催〈1回、参加者数133人〉 ・生活支援体制アドバイザーの派遣〈5市町、延べ7回〉	高齢対策課		再掲		(3)	(1)、(2)	(1)、(3)	全てに該当
17	地域包括支援センター職員研修事業	834	834	地域包括支援センター	地域包括支援センター意義、役割、その業務、他の専門職との連携等について理解し、業務を行う上で必要な知識の習得及び技能の向上目的とした研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数45人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
18	介護予防従事者研修事業	622	622	地域包括支援センター	介護予防プランを作成する、介護支援専門員及び地域包括支援センター職員の資質向上を図ることを目的とした研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈2回、修了者数99人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数35人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
19	リハビリテーション専門職等研修会事業	318	318	その他事業者	高齢者の生活機能低下に対しての働きかけにあたって協力が必要不可欠なりリハビリテーション専門職等に対して、通所型サービス、訪問型サービス、地域ケア会議等に積極的に関与できるよう、必要な情報や知識を習得させることを目的とした研修を実施する事業	・リハビリテーション専門職等研修会の実施〈1回、参加者24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
20	住民主体介護予防推進支援事業	884	92	市町	住民主体による介護予防に係る取り組みの促進のため、市町職員等の行政担当者に対する研修や専門職を対象としたフレイルアドバイザー養成、住民を対象としたフレイルサポーター養成を実施する事業	・介護予防・生活支援市町職員研修会〈1回、修了者数59人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
21	市町担当者養成事業	410	22	市町	地域包括ケアシステムの構築について、住民に最も身近な市町が責任を持ってそれぞれの地域の特性を十分に活かしながらシステム構築に取り組むことができるよう、システム構築を担当する職員を対象に、地域包括ケアシステム構築の総括担当者として求められる各種マネジメントや実務担当者の実務能力を養成するための研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数25人〉 ・課長級研修の開催〈1回、修了者数13人〉 ・フォローアップ研修の開催〈1回、修了者数14人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
22	認知症地域支援推進員研修事業	1,140	1,102	市町	市町が設置、運営する認知症地域支援推進員に対して、国が実施する質の確保に資する研修へ派遣することを目的とした事業	・新任者研修への派遣〈8回、修了者数22人〉 ・現任者研修への派遣〈6回、修了者数7人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
23	認知症サポート医研修事業	2,250	900	医療機関	認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成するため、国が実施する研修へ派遣する事業	・認知症サポーター医養成研修への派遣〈5回、修了者数18人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
24	かかりつけ医認知症対応力向上研修事業	1,269	450	医療機関	高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医〈かかりつけ医〉に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施することにより、認知症サポート医との連携の下、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じた認知症の人への支援体制の構築を図るため、かかりつけ医の認知症対応力向上を目的とした研修を実施する事業	・かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施〈2回、修了者数24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
25	医療従事者向け研修事業	3,677	3,129	医療機関	認知症の人が利用する病院の医療従事者や歯科医師、薬剤師、看護師、病院勤務以外の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基礎知識や医療と介護の連携の重要性等を得得するための研修を実施する事業	・病院勤務の医療従事者向け研修の開催〈7回、修了者数247人〉 ・歯科医師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数19人〉 ・薬剤師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数50人〉 ・看護職員認知症対応力向上研修の開催〈1回、修了者数72人〉 ・病院勤務以外の医療従事者向け研修の開催(2回、326人)	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
26	介護に関する入門的研修事業	2,250	1,749	高齢者をケアする人	地域における介護人材の育成のため、県・市町が介護未経験者を対象に入門的研修を実施する事業	実施市町：9市町 県実施：2回	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
27	介護人材キャリアパス支援事業	5,000	4,559	介護等サービス事業所	介護職員に対し、適切なキャリアパス及びスキルアップを図るための研修を実施する事業	介護福祉士国家試験対策講座、小規模事業所資質向上研修、スキルアップ研修、サービス提供責任者研修、高齢者権利擁護推進研修	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
28	介護福祉士等修学資金貸付事業	9,230	147,967	県民	介護福祉士養成施設や福祉系高校の学生等に対して、入学準備金や介護実習費などの資金貸付を行う。	介護福祉士修学資金貸付：147名 福祉系高校修学資金貸付：43名 介護福祉士実務者研修受講資金貸付：62名	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
29	市町認知症施策推進連絡会開催事業	337	100	市町	市町が実施する認知症施策の円滑な実施に向けて、有識者等の講演や、先進事例の紹介、チームオレンジコーディネーターの養成を行う研修等を実施する事業	・チームオレンジコーディネーターフォローアップ研修の開催〈1回、24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
30	認知症初期集中支援チーム員研修事業	1,000	640	市町	市町が設置、運営する認知症初期集中支援チーム員に対して、必要な知識及び技術を得得するための研修を実施することを目的とした事業	・市町職員の研修事業の参加料負担〈7回、修了者数16人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
31	認定調査員等研修事業	869	506	市町	介護保険制度を円滑かつ適正に実施するため、要介護認定関係者、介護支援専門員に対する養成等に関する研修を実施する事業	・認定調査員現任研修〈1回、修了者数112人〉 ・介護認定審査会委員現任研修〈1回、修了者数117人〉 ・主治医研修〈2回、修了者数138人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
32	小児慢性特定疾病等自立支援事業 (とちまるピアサポート事業)	34	8	小児慢性特定疾病の方をケアする人	ピアサポーターを養成するための研修や資質向上のための研修を実施する。 (ピアサポーター養成講座、フォローアップ研修)	・ピアサポーターフォローアップ研修 2回実施	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
33	難病相談支援センター事業 (難病相談支援員研修会参加費、ピア・サポーター養成研修会事業)	212	69	難病の方をケアする人	・難病相談支援員やピア・サポーターの資質向上のための研修を実施する。 ・ハローワークと連携し、難病患者に対し、症状を踏まえた就労や雇用継続等の支援を実施する。	・ピアサポーターフォローアップ研修 1回実施	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
34	ピアサポーター養成事業	500	216	がん経験者	がん経験者がその治療体験等を活かし、患者の悩みや不安を傾聴することで患者の心理的負担を軽減する「ピアサポーター」を養成し、がん拠点病院が開催するがんサロン等において活動する。	実地研修(がん経験者交流会)2回 参加者9名,8名 フォローアップ研修会1回 参加者11名	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
35	地域生活支援事業費等補助金	262,000	243,874	市町	障害者及び障害児の日常生活又は社会生活を支援するため、市町が行う相談支援、移動支援、日常生活用具給付、手話通訳等の派遣等の地域活動支援等事業に対して助成する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	障害福祉課		再掲	全てに該当				
36	医療的ケア児支援センター事業	23,592	13,331	その他事業者	医療的ケア児支援センター事業の一環として、関係者の連携促進のための会議開催や医療的ケア児等コーディネーターをフォローアップし地域支援を促進するための研修会を開催する。	参加者16名 その他個別支援会議等への参加による連携促進(7事例) 各種会議への参加(33回) 新聞、ラジオ等の掲載(2回)	障害福祉課	医療・保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	再掲		(2)		(1)	(2)
37	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業	1,000	874	障害福祉等サービス事業所	医療的ケア児等コーディネーター養成により、身近な地域における相談支援体制を強化する。	修了者14名	障害福祉課		再掲		(2)		(1)	(2)
38	障害者ケアマネジメント推進事業	4,985	2,078	障害福祉等サービス事業所	身近な地域における相談支援体制を強化するため、相談支援専門員を養成するとともに、指導的役割を担う主任相談支援専門員を養成する。	相談支援専門員 初任者研修70名、現任研修75名、主任研修10名修了	障害福祉課		再掲		(2)	(1)	(1)	(2)
39	子ども若者・ひきこもり対策推進事業(再掲)	31,724	31,724	その他	社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者等に対する総合的な支援を実施することを目的とした栃木県子ども・若者支援地域協議会を運営し、必要に応じ個別ケース会議を開催する。	・栃木県子ども・若者支援地域協議会、書面開催 ・個別ケース会議、555回開催	障害福祉課 県民協働推進課	教育、福祉、保健、医療、雇用等の関係機関	再掲			(1)	柱書	
40	★心のサポート推進事業	3,843	－	県民 (ケアラー)	県民を対象に精神障害に関する正しい知識と理解に基づき、身近な人に対して傾聴を中心とした支援を行う「心のサポーター」を養成するとともに、障害児養育の経験者等をピアサポーターとして養成・派遣し、家族の不安や悩みの軽減や解消を図るなど、社会全体で障害児の家族に寄り添いサポートする体制を整備していく。	－	障害福祉課		再掲	(1) (3)	(2) (3)	(1)	(2)	(1) (2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
41	ヤングケアラー総合支援事業 (市町支援窓口設置事業)	3,168	2,534	市町	ヤングケアラーへの支援において中核的な役割を担う市町への指導助言や情報提供等を担うヤングケアラー・コーディネーターの配置	こども政策課内にヤングケアラー・コーディネーターを1名配置し、ヤングケアラーに関する市町への情報提供、研修及び普及啓発等を実施	こども政策課						(1)	
42	スクールソーシャルワーカー研修会	411	247	○ 県スクールソーシャルワーカー ○ 市町スクールソーシャルワーカー ○ 県SSWの業務に関心のある者	○ スクールソーシャルワーカーの資質向上と業務遂行に必要な見識を高めるため研修会を実施する。 ○ 県スクールソーシャルワーカーとして活躍が期待される、福祉に関する知識や技術を備えた人材を養成するため研修会を実施する。	○ 県スクールソーシャルワーカー研修会 2回 ○ 新任県スクールソーシャルワーカー研修会 1回 ○ 栃木県スクールソーシャルワーカー養成研修会 3回	学校安全課		再掲	(2)	(2) (3)		(1)	(2) (3)
43	スクールソーシャルワーカー活用事業	98,840	85,079	宇都宮市を除く公立小・中学校、義務教育学校、県立中学校、県立高校、県立特別支援学校	様々な課題を抱えた児童生徒の置かれた環境の改善を図るため、県スクールソーシャルワーカーを全中学校区（宇都宮市を除く）及び県立学校に配置し、関係機関等と連携しながら福祉的な支援が必要な家庭への支援体制を構築する。	○ 学校訪問：8,995回（個別事案への助言、児童生徒の観察支援、保護者の相談対応等） ○ ケース会議：689回（学校、関係機関が開催するケース会議への出席） ○ 家庭訪問：1,703回（児童生徒、保護者の家庭訪問による相談支援） ○ 関係機関訪問：994回（市町教委、福祉部局、警察等への訪問による情報交換等） ○ 電話来校相談：921回（児童生徒、保護者等への相談対応等） ○ 研修会講師：503回（学校等が主催する研修会での講話、指導助言） (2) 主な相談・支援の内容 ○ 不登校：12,195件 ○ 家族環境：11,082件 ○ 発達障害：5,297件 ○ 集団不応：5,377件	学校安全課		再掲			(1)	(1)	(2) (3)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
1	相談支援コーディネーター養成 研修事業	1,272	1,103	市町行政、社会福祉協議会職員、地域包括支援センターなどの相談支援機関職員等	多様化・複合化した課題を抱える個人や世帯の相談を受け止め、多機関協働事業等を通じて適切な支援につなぐ役割を担う「相談支援コーディネーター」を養成する研修を開催する。	・相談支援コーディネーター養成研修 R5(2023).7.3～R5(2023).9.28 修了者 43名 研修日程：上記期間のうち6日間 延べ30時間	保健福祉課	市町行政、社会福祉協議会職員、地域包括支援センターなどの相談支援機関職員等	再掲		(3)		(1)	(3)
2	福祉ボランティア活動推進事業	16,979	18,231	県民	福祉ボランティア団体のネットワーク化、市町ボランティア連絡協議会の組織強化及びボランティア活動の相談等事業を推進するための支援を行う。 また、とちぎ福祉プラザボランティアルーム内にボランティアコーディネーターを設置し、各種相談援助事業を行うことにより、ボランティア活動の推進を図る。	・福祉ボランティアネットワーク化推進事業 研修会 R6(2024).3.11 参加者11名 ・福祉ボランティア団体育成・指導事業 研修会：5会場 計5回 参加人数：計145名 ・福祉ボランティアコーディネート相談事業 来所・電話相談 2,978件	保健福祉課		再掲		(3)		(1)	(3)
3	ボランティア振興事業	8,526	8,209	子ども・生徒	概ね中学校区を単位とした地域を指定し、複数の小・中学校と市町社協が主体となり、ボランティア活動を中心とした福祉教育を推進するほか、教育関係者等を対象にした福祉教育推進セミナーを開催する。 また、各市町におけるボランティアコーディネーターの配置促進、スキルアップを目的にセミナーを開催する。	・福祉教育推進事業 セミナー R5(2023).8.4開催 参加者42名 国際医療福祉大学 大石准教授 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係 倉野主任 ・福祉教育推進リーダー養成研修 R5(2023).12.18開催 参加者18名 国際医療福祉大学 大石准教授 ・指定地域への助成：壬生町 ・ボランティアコーディネーションセミナー 令和5(2023).7.11 参加者15名 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 専務理事・事務局長 土崎 雄祐氏	保健福祉課		再掲	(1)	(3)		(1)	(3)
4	福祉人材センター事業運営委託費（福祉マンパワー確保対策事業）	38,053	35,261	県民	県社会福祉協議会に設置された福祉人材・研修センターにおいて新たな福祉人材の育成及び潜在福祉マンパワーの就労の促進、人材確保のための相談並びに就職あっ旋、福祉従事者の資質向上のための研修、福祉の広報啓発等、福祉マンパワー確保対策事業の推進を図る。	・福祉人材無料職業紹介事業の実施 ・福祉職就労希望者向け合同就職説明会の開催 R5(2023).7.15 参加事業者数61法人／参加者数120名 ・就職支援セミナーの開催 R5(2023).6.8 参加者数32名 ・福祉職就労希望者向け就職支援セミナーの開催 R5(2023).7.15 ・社会福祉従事者専門研修の開催 20研修、延べ1,349人参加	保健福祉課							(1)
5	従事者養成等研修	421	421	自立相談支援員等	相談支援員等の養成やスキルアップを目的とした研修を開催する。	・生活困窮者自立支援制度従事者研修 3回開催	保健福祉課		再掲		(2)	(1)		(2)
6	民生委員研修委託事業	548	550	民生委員・児童委員	県内3地区において、新任・中堅民生委員の資質向上のための研修事業を実施する。	・県内3地区において、新任・中堅民生委員のニーズを踏まえた研修会を開催した。 ・R5（2023）.9～R6(2024).12 （2日間/1地区） ・参加者延べ936名	保健福祉課		再掲	(2)	(2)			(1)
7	研修関係事務費（民生委員活動強化費）	348	242	民生委員・児童委員	各健康福祉センターによる研修会を実施する。	・県内5地区の健康福祉センターにおいて、各市町・民児協等との連携により地区別研修会を開催した。 R5(2023).5～R6(2024).2(日程は各センターで設定) 参加者：県内民生委員延べ1,800名程度	保健福祉課		再掲	(2)	(2)			(1)
8	地域支援事業交付金	1,807,189	1,089,519	市町	介護保険の被保険者が要介護状態等になるのを予防すること及び要介護状態等になった場合であってもできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として、市町が実施する地域支援事業に対して交付金を交付する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	高齢対策課		再掲	全てに該当				
9	出張どこでも認知症カフェ開催事業	410	410	高齢者をケアする人	各市町において、認知症の本人の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映できるよう、認知症の本人が、自身の希望や必要としていること等を本人同士で語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域の在り方を一緒に話し合う場である本人ミーティングの取り組みを実施することが求められていることから、認知症の本人による本人ミーティングを参加者がくつろいで話せるよう、なじみのある認知症カフェ形式で開催することで、各市町における本人ミーティング開催に向けた支援を図る事業	・出張どこでも認知症カフェの開催〈3回、参加者数137人〉	高齢対策課		再掲	全てに該当	(1),(2)	全てに該当	(2),(3)	(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
10	認知症地域支援推進員活動促進事業	287	130	県民	認知症地域支援推進員の活動を促進するため、市町間の連携を図る連絡会の開催や、認知症地域支援推進員の役割や配置先を記載したリーフレット等を作成し、普及・啓発を図ることを目的とした事業	・連絡会の開催〈1回、参加者数24人〉 ・リーフレットの印刷及び配布〈15,000枚〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
11	認知症医療連携体制構築事業費	3,723	2,871	県民	認知症を早期に発見し、診断することが重要であることから、それらに対応する認知症サポート医等をとちぎオレンジドクターとして登録し、ポスター等により周知するとともに県内全域に認知症の初期から中等度の症状等に対応できる認知症医療連携体制の構築を目的とした事業	・研修会の開催〈2回、参加者数116人〉 ・新規登録者数18名〈登録証を作成・配布〉 ・ポスターの印刷及び配布〈5,200枚〉 ・リーフレットの印刷及び配布〈52,000枚〉	高齢対策課		再掲	(2)	(2)	(1)		(1)
12	若年性認知症対策推進事業	1,383	1,297	県民、事業者	若年性認知症支援コーディネーターを養成・配置し、若年性認知症の人やその家族、若年性認知症の人が利用する関係機関及び若年性認知症の人を雇用する企業等からの各種相談に応じ、必要な支援制度やサービス等を紹介すると共に、相談内容に応じて、医療・福祉・就労・家族等支援等とネットワークを構築し、関係機関と連携して若年性認知症の方及びその家族への支援を実施する事業	・電話相談18件 ・若年性認知症支援コーディネーターの配置〈2人〉 ・若年性認知症支援ネットワーク会議の開催〈1回〉 ・若年性認知症支援に係る市町職員等研修会〈1回、参加者数38人〉 ・関係機関等への支援〈認定産業医研修への参加〉	高齢対策課		再掲	(4)	(3)	(1)	(1)、 (3)	(1)、(3)
13	認知症サポーター等養成事業	134	160	高齢者をケアする人	地域における認知症の普及啓発を充実させるため、認知症サポーター養成講座を実施するとともに、サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトの要請及び活動事例に関する報告会を開催する事業	・認知症サポーター養成講座の開催〈12回、修了者数793名〉 ・キャラバン・メイト養成講座の開催〈1回、修了者数87名〉	高齢対策課		再掲	全てに該当	全てに該当	(1)、(2)	(3)	全てに該当
14	高齢者虐待防止推進事業	90	86	市町	高齢者虐待防止啓発リーフレットの配布等による啓発活動や市町職員を対象とした研修を実施する事業	・リーフレットの配布〈1,560部〉 ・高齢者虐待対応初級研修(1回 47名) ・市町担当課長向け高齢者虐待対応研修(1回 15名) ・高齢者虐待対応フォローアップ研修(1回 24名)	高齢対策課		再掲	(4)	(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
15	生活支援コーディネーター養成事業	1,996	1,245	県民	住民主体の助け合いによる地域づくりや、日常生活支援サービスに係る地域のニーズとボランティア、NPO等の地域資源のマッチングなどを行うために市町等に配置される生活支援コーディネーターの育成を図る研修のほか、県内の先進事例を発表するフォーラムの開催、協議体等への助言を行う生活支援体制整備アドバイザー派遣を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数27人〉 ・住民主体の地域支え合い推進フォーラムの開催〈1回、参加者数133人〉 ・生活支援体制アドバイザーの派遣〈5市町、延べ7回〉	高齢対策課		再掲		(3)	(1)、(2)	(1)、(3)	全てに該当
16	地域包括支援センター職員研修事業	834	834	地域包括支援センター	地域包括支援センター意義、役割、その業務、他の専門職との連携等について理解し、業務を行う上で必要な知識の習得及び技能の向上目的とした研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数45人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数46人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
17	介護予防従事者研修事業	622	622	地域包括支援センター	介護予防プランを作成する、介護支援専門員及び地域包括支援センター職員の資質向上を図ることを目的とした研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈2回、修了者数99人〉 ・現任者研修の開催〈1回、修了者数35人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
18	リハビリテーション専門職等研修会事業	318	318	その他事業者	高齢者の生活機能低下に対しての働きかけにあたって協力が必要不可欠なりリハビリテーション専門職等に対して、通所型サービス、訪問型サービス、地域ケア会議等に積極的に関与できるよう、必要な情報や知識を習得させることを目的とした研修を実施する事業	・リハビリテーション専門職等研修会の実施〈1回、参加者24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
19	住民主体介護予防推進支援事業	884	92	市町	住民主体による介護予防に係る取り組みの促進のため、市町職員等の行政担当者に対する研修や専門職を対象としたフレイルアドバイザー養成、住民を対象としたフレイルサポーター養成を実施する事業	・介護予防・生活支援市町職員研修会〈1回、修了者数59人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
20	市町担当者養成事業	410	22	市町	地域包括ケアシステムの構築について、住民に最も身近な市町が責任を持ってそれぞれの地域の特性を十分に活かしながらシステム構築に取り組むことができるよう、システム構築を担当する職員を対象に、地域包括ケアシステム構築の総括担当者として求められる各種マネジメントや実務担当者の実務能力を養成するための研修を実施する事業	・初任者研修の開催〈1回、修了者数25人〉 ・課長級研修の開催〈1回、修了者数13人〉 ・フォローアップ研修の開催〈1回、修了者数14人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
21	認知症地域支援推進員研修事業	1,140	1,102	市町	市町が設置、運営する認知症地域支援推進員に対して、国が実施する質の確保に資する研修へ派遣することを目的とした事業	・新任者研修への派遣〈8回、修了者数22人〉 ・現任者研修への派遣〈6回、修了者数7人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
22	認知症サポート医研修事業	2,250	900	医療機関	認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成するため、国が実施する研修へ派遣する事業	・認知症サポーター医養成研修への派遣〈5回、修了者数18人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
23	かかりつけ医認知症対応力向上研修事業	1,269	450	医療機関	高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医〈かかりつけ医〉に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施することにより、認知症サポート医との連携の下、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じた認知症の人への支援体制の構築を図るため、かかりつけ医の認知症対応力向上を目的とした研修を実施する事業	・かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施〈2回、修了者数24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
24	医療従事者向け研修事業	3,677	3,129	医療機関	認知症の人が利用する病院の医療従事者や歯科医師、薬剤師、看護師、病院勤務以外の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基礎知識や医療と介護の連携の重要性等を得するための研修を実施する事業	・病院勤務の医療従事者向け研修の開催〈7回、修了者数247人〉 ・歯科医師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数19人〉 ・薬剤師認知症対応力向上研修の開催〈2回、修了者数50人〉 ・看護職員認知症対応力向上研修の開催〈1回、修了者数72人〉 ・病院勤務以外の医療従事者向け研修の開催(2回、326人)	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
25	介護に関する入門的研修事業	2,250	1,749	高齢者をケアする人	地域における介護人材の育成のため、県・市町が介護未経験者を対象に入門的研修を実施する事業	実施市町：9市町 県実施：2回	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
26	介護人材キャリアパス支援事業	5,000	4,559	介護等サービス事業所	介護職員に対し、適切なキャリアパス及びスキルアップを図るための研修を実施する事業	介護福祉士国家試験対策講座、小規模事業所資質向上研修、スキルアップ研修、サービス提供責任者研修、高齢者権利擁護推進研修	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
27	介護福祉士等修学資金貸付事業	9,230	147,967	県民	介護福祉士養成施設や福祉系高校の学生等に対して、入学準備金や介護実習費などの資金貸付を行う。	介護福祉士修学資金貸付：147名 福祉系高校修学資金貸付：43名 介護福祉士実務者研修受講資金貸付：62名	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
28	市町認知症施策推進連絡会開催事業	337	100	市町	市町が実施する認知症施策の円滑な実施に向けて、有識者等の講演や、先進事例の紹介、チームオレンジコーディネーターの養成を行う研修等を実施する事業	・チームオレンジコーディネーターフォローアップ研修の開催〈1回、24人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
29	認知症初期集中支援チーム員研修事業	1,000	640	市町	市町が設置、運営する認知症初期集中支援チーム員に対して、必要な知識及び技術を得得するための研修を実施することを目的とした事業	・市町職員の研修事業の参加料負担〈7回、修了者数16人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
30	認定調査員等研修事業	869	506	市町	介護保険制度を円滑かつ適正に実施するため、要介護認定関係者、介護支援専門員に対する養成等に関する研修を実施する事業	・認定調査員現任研修〈1回、修了者数112人〉 ・介護認定審査会委員現任研修〈1回、修了者数117人〉 ・主治医研修〈2回、修了者数138人〉	高齢対策課		再掲		(2)	(1)、(2)	(2)、(3)	(1)、(2)
31	★ケアラー支援知識向上研修事業	1,600	－	関係機関	地域包括支援センター職員等を対象に、高齢者以外の家族介護者のニーズや介護者支援にあたっての大切な視点、他分野の関係機関等と連携した家族介護者支援の意義や進め方等について学ぶことができる研修を実施し、地域包括支援センターの機能の強化・充実を図る。	－	高齢対策課		再掲	(2)				(2)
32	小児慢性特定疾病等自立支援事業 (とちまるピアサポート事業)	34	8	小児慢性特定疾病の方をケアする人	ピアサポーターを養成するための研修や資質向上のための研修を実施する。 (ピアサポーター養成講座、フォローアップ研修)	・ピアサポーターフォローアップ研修 2回実施	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
33	難病相談支援センター事業 (難病相談支援員研修会参加費、ピア・サポーター養成研修会事業)	212	69	難病の方をケアする人	・難病相談支援員やピア・サポーターの資質向上のための研修を実施する。 ・ハローワークと連携し、難病患者に対し、症状を踏まえた就労や雇用継続等の支援を実施する。	・ピアサポーターフォローアップ研修 1回実施	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
34	ピアサポーター養成事業	500	216	がん経験者	がん経験者がその治療体験等を活かし、患者の悩みや不安を傾聴することで患者の心理的負担を軽減する「ピアサポーター」を養成し、がん拠点病院が開催するがんサロン等において活動する。	実地研修(がん経験者交流会)2回 参加者9名,8名 フォローアップ研修会1回 参加者11名	健康増進課		再掲		(3)	(3)	(1)	(3)
35	地域生活支援事業費等補助金	262,000	243,874	市町	障害者及び障害児の日常生活又は社会生活を支援するため、市町が行う相談支援、移動支援、日常生活用具給付、手話通訳等の派遣等の地域活動支援等事業に対して助成する事業	・各市町へ交付を行った〈25市町〉	障害福祉課		再掲	全てに該当				
36	権利擁護センター運営事業	90	72	障害福祉等サービス事業所	障害者虐待を受けた障害者の支援や擁護者に対する支援、虐待の防止に関する広報や啓発活動を行う。	県政出前講座 8回(延べ参加人数140人)	障害福祉課		再掲		(2)			(2)
37	子ども若者・ひきこもり対策推進事業	31,724	31,724	その他	子ども若者・ひきこもり支援に携わる人材を養成する。	・ひきこもりサポーター養成研修、修了者16名 ・ひきこもり支援従事者向け研修、3回開催、修了者計96名	障害福祉課 県民協働推進課	市町担当者、民生委員等	再掲		(2)			(2)
38	障害者相談支援体制推進事業	7,392	7,392	障害福祉等サービス事業所	障害者相談支援協働コーディネーターを配置し、困難事例や地域課題・ニーズの抽出に対する指導・助言などのスーパーバイズを行う。	スーパーバイズ延べ78件	障害福祉課		再掲		(2)	(1)		(2)
39	医療的ケア児支援センター事業	23,592	13,331	その他事業者	医療的ケア児支援センター事業の一環として、関係者の連携促進のための会議開催や医療的ケア児等コーディネーターをフォローアップし地域支援を促進するための研修会を開催する。	・個別支援会議等への参加による連携促進 (医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修は未実施)	障害福祉課	医療・保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	再掲		(2)		(1)	(2)
40	医療的ケア児等支援人材養成研修事業	363	270	その他事業者	様々な分野で医療的ケア児支援に携わる職員が医療的ケア児を支援に係る基本的な知識等を得得するための研修を開催する。	修了者89名	障害福祉課	医療・保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	再掲		(2)			(2)
41	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業	1,000	874	障害福祉等サービス事業所	医療的ケア児等コーディネーター養成により、身近な地域における相談支援体制を強化する。	修了者14名	障害福祉課		再掲		(2)		(1)	(2)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績（R6(2024).3月末現在）	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
42	障害者ケアマネジメント推進事業	4,985	2,078	障害福祉等サービス事業所	身近な地域における相談支援体制を強化するため、相談支援専門員を養成するとともに、指導的役割を担う主任相談支援専門員を養成する。	相談支援専門員 初任者研修70名、現任研修75名、主任研修10名修了	障害福祉課		再掲		(2)	(1)	(1)	(2)
43	高次脳機能障害支援事業	1,000	601	市町担当者、相談支援専門員、医療従事者等の支援者	支援者を対象に高次脳機能障害の特性や本人・家族への対応方法等の習得を目的とした研修を開催する。	相談支援研修（基礎編）207名、（専門編）161名 医療従事者研修87名	障害福祉課	市町担当者、相談支援専門員、医療従事者等の支援者	再掲		(2)			(2)
44	発達障害者支援事業（発達障害者支援センター運営費）	2,006	1,030	保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	相談機関や障害者支援施設、医療機関等の職員に対して、発達障害者を支援する人材等の資質向上を図るための研修を実施する。	研修会10回 延べ748名	障害福祉課	保健・福祉・保育・教育等の支援関係者	再掲		(2)			(2)
45	障害者虐待防止体制整備事業	1,319	1,430	障害福祉等サービス事業所	障害者虐待の防止等の職務に携わる専門知識等を有する人材等の資質向上を図るための研修を実施する。	栃木県障害者虐待防止・権利擁護研修の実施 2回	障害福祉課		再掲		(2)			(2)
46	障害者社会参加総合推進事業（視覚障害者社会参加促進事業）	775	775	その他	点訳奉仕員、朗読奉仕員の養成事業の実施	点訳奉仕員養成事業：延べ11名参加 朗読奉仕員養成事業：延べ26名参加	障害福祉課		再掲		(2)			(2)
47	障害者社会参加総合推進事業（意思疎通支援事業）	1,276	970	その他	失語症者向け意思疎通支援者及び失語症者向け意思疎通支援者指導者の養成の実施	・栃木県失語症者向け意思疎通支援者養成事業研修、修了者7名 ・失語症者向け意思疎通支援者指導者研修会オンラインにて5名参加	障害福祉課		再掲		(2)			(2)
48	障害者社会参加総合推進事業（手話通訳者養成事業）	8,566	6,349	その他	手話通訳者の養成事業の実施	新規登録者数 6名 合計 157名	障害福祉課		再掲		(2)			(2)
49	障害者社会参加総合推進事業（要約筆記者養成事業）	3,473	3,219	その他	要約筆記者の養成事業の実施	新規登録者数 3名 合計 124名	障害福祉課		再掲		(2)			(2)
50	★心のサポート推進事業	3,843	－	県民（ケアラー）	県民を対象に精神障害に関する正しい知識と理解に基づき、身近な人に対して傾聴を中心とした支援を行う「心のサポーター」を養成するとともに、障害児養育の経験者等をピアサポーターとして養成・派遣し、家族の不安や悩みの軽減や解消を図るなど、社会全体で障害児の家族に寄り添いサポートする体制を整備していく。	－	障害福祉課		再掲	(1) (3)	(2) (3)	(1)	(2)	(1) (2)
51	障害者支援施設等職員研修	0	0	障害福祉等サービス事業所	障害者支援施設等職員が精神疾患を抱えている方々と専門的な立場で関わっていくために、精神疾患について基礎知識を習得するために実施。	研修会1回 オンライン開催 119人	精神保健福祉センター		再掲		(2)			(2)
52	依存症支援者研修会	123	123	その他	依存症相談支援者の資質向上を図るために実施	研修会3回 ハイブリット開催 187人 オンデマンド配信	精神保健福祉センター		再掲		(2)			(2)
53	思春期関連問題研修会	50	50	相談・教育等に関わる関係者	思春期の心の特徴及び問題と対応についての理解を深め、思春期の相談・教育等に関わる関係者の資質向上を図るために実施	研修会1回 オンライン開催 155人	精神保健福祉センター	相談・教育等に関わる関係者	再掲		(2)			(2)
54	学生指導	0	0	こども・生徒	臨地実習として、精神保健福祉分野について学生指導を実施	3校 12回	精神保健福祉センター		再掲		(2)			(2)
55	精神保健コンサルテーション	229	144	健康福祉センター、市町、その他関係機関の職員	地域精神保健活動における処遇困難事例に対してコンサルテーションという手法を用いて支援する。	令和5年度実績 7回	精神保健福祉センター	相談支援関係者	再掲		(2)			(2)
56	地域自殺関連コンサルテーション	0	0	健康福祉センター、市町、その他関係機関の職員	自殺既遂、未遂、頻回重傷自傷行為、自死遺族事例など自殺に関連する事例で地域に対してコンサルテーションを行う。	令和5年度実績 3回	精神保健福祉センター	相談支援関係者	再掲		(2)			(2)
57	ゲートキーパー養成研修	0	0	県民	ゲートキーパーの役割について理解し、対応について学ぶ。	令和5年度2回実施	精神保健福祉センター		再掲	(3)	(2)			(2)
58	自殺対策担当者研修	50	50	健康福祉センター、市町等相談担当者	自殺対策についての理解および相談技術向上を図るために実施	研修会2回 オンライン開催 113名	精神保健福祉センター		再掲		(2)			(2)
59	子どもの居場所担い手育成事業	504	504	「子どもの居場所」運営団体	要支援児童等を対象とした支援を行う「子どもの居場所」の担い手の専門性向上のための研修の実施	年間4回開催	こども政策課							(1)

No	事業名等 (★は重点取組)	R6(2024)年度 予算額 (千円)	R5(2023)年度 実績額 (千円)	事業の主な 対象者	事業概要等	R5年度実績 (R6(2024).3月末現在)	所管課	備考	再掲	該当する施策				
										1－(1)	1－(2)	2	3	4
60	児童虐待防止対策事業 (連携強化事業)	851	859	児相職員、市 町児童福祉主 管課職員等	児童相談所及び市町の児童福祉主管課（要保護児童等対策地域協議会の調整担当機関）の相談対応力強化のための研修の実施	要対協専門職研修、児童福祉司任用講習会・任用前講習会等の実施	こども政策 課							(2)
61	とちぎ未来づくり財団青少年健全育成事業費	17,194	16,238	その他	栃木県青少年育成県民会議（公益財団法人とちぎ未来づくり財団）が実施する青少年健全育成に係る事業に対する助成	(ケアラー、ヤングケアラーに関する直接的な事業は無し)	県民協働推 進課		再掲	(2)				(1) (2) (3)
62	スクールソーシャルワーカー研修会	411	247	○ 県スクール ソーシャルワ ーカー ○ 市町ス クールソー シャルワ ーカー ○ 県ＳＳＷ の業務に関心 のある者	○ スクールソーシャルワーカーの資質向上と業務遂行に必要な見識を高めるため研修会を実施する。 ○ 県スクールソーシャルワーカーとして活躍が期待される、福祉に関する知識や技術を備えた人材を養成するため研修会を実施する。	○ 県スクールソーシャルワーカー研修会 2回 ○ 新任県スクールソーシャルワーカー研修会 1回 ○ 栃木県スクールソーシャルワーカー養成研修会 3回	学校安全課		再掲	(2)	(2) (3)		(1)	(2) (3)
63	スクールソーシャルワーカー活用事業	98,840	85,079	宇都宮市を除く公立小・中学校、義務教育学校、県立中学校、県立高校、県立特別支援学校	様々な課題を抱えた児童生徒の置かれた環境の改善を図るため、県スクールソーシャルワーカーを全中学校区（宇都宮市を除く）及び県立学校に配置し、関係機関等と連携しながら福祉的な支援が必要な家庭への支援体制を構築する。	○ 学校訪問：8,995回（個別事案への助言、児童生徒の観察支援、保護者の相談対応等） ○ ケース会議：689回（学校、関係機関が開催するケース会議への出席） ○ 家庭訪問：1,703回（児童生徒、保護者の家庭訪問による相談支援） ○ 関係機関訪問：994回（市町教委、福祉部局、警察等への訪問による情報交換等） ○ 電話来校相談：921回（児童生徒、保護者等への相談対応等） ○ 研修会講師：503回（学校等が主催する研修会での講話、指導助言） (2) 主な相談・支援の内容 ○ 不登校：12,195件 ○ 家族環境：11,082件 ○ 発達障害：5,297件 ○ 集団不適応：5,377件	学校安全課		再掲			(1)	(1)	(2) (3)